

海老川水門工事に関する地元説明会を開催しました

～ 千葉港海岸直轄海岸保全施設整備事業 ～

令和8年5月下旬から予定している海老川水門工事における市道交通規制作業に先立ち、地元の皆様を対象とした「海老川水門工事に関する地元説明会」を開催いたしました。

説明会では、国土交通省による海老川水門の工事全体の進め方および市道交通規制内容の詳細説明のほか、千葉県による水門維持管理用通路の通行方法に関する説明をいたしました。

- ・日時：令和8年5月9日(土) 10:00～11:00
- ・会場：船橋市役所 11F 大会議室
- ・主催：国土交通省・千葉県・船橋市
- ・参加者：計38名



説明会会場の状況

千葉港海岸直轄海岸保全施設整備事業
海老川水門工事に関する説明会

議事次第

日時：令和8年5月9日(土) 10:00～
場所：船橋市役所 11F 大会議室

1. 開会
2. はじめの挨拶
3. 出席者紹介
4. 説明
 - 【国土交通省】
千葉港海岸直轄海岸保全施設整備事業について
海老川水門工事について
市道 00-163 号線の交通規制内容について
 - 【千葉県】
管理用通路の通行方法について
5. 質疑応答
6. 閉会

海老川水門工事に関する説明会

国土交通省 関東地方整備局
千葉港湾事務所

千葉県 県土整備部 港湾課

令和8年5月9日

本説明会の目的

近隣住民の皆様の生活に深く関わる

下記2項目についてのご説明



① 市道の交通規制内容について



② 管理用通路の通行方法について

【①市道の交通規制】の説明内容について

1. 「千葉港海岸直轄海岸保全施設整備事業」について
 - ・事業概要
 - ・事業スケジュール
2. 本事業で整備する海老川水門について
 - ・新水門の整備概要
 - ・工事の進め方
 - ・工事スケジュール
3. 市道の交通規制内容について
 - ・作業ステップ
 - ・作業中の迂回路
 - ・作業スケジュール

千葉港海岸直轄海岸保全施設整備事業 事業概要

【事業の目的】

台風等による高潮や首都直下地震及び同地震に伴う津波に備えるため、**海岸保全施設の嵩上げ及び耐震対策等を実施**することで、**地域の安全・安心を確保**する。

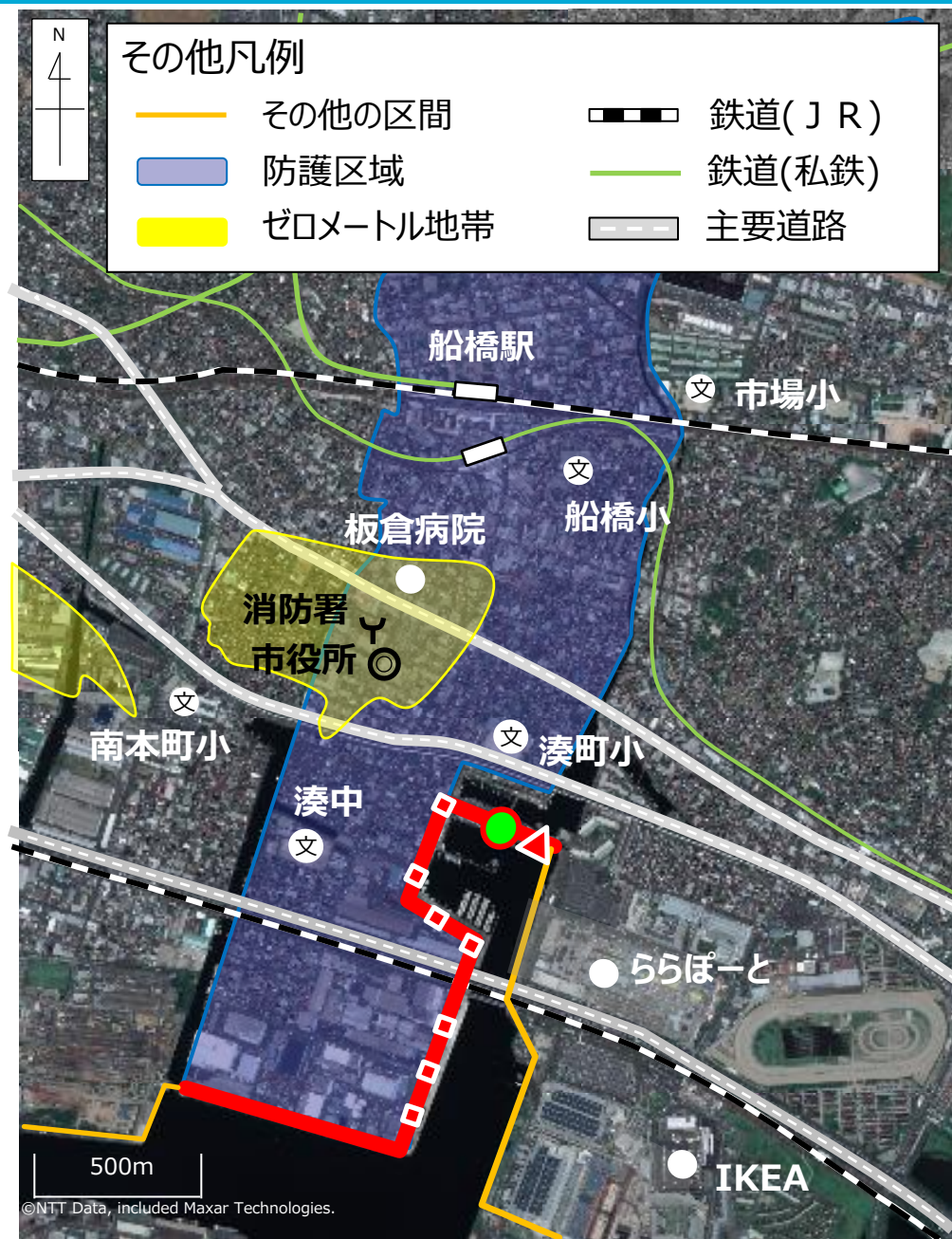
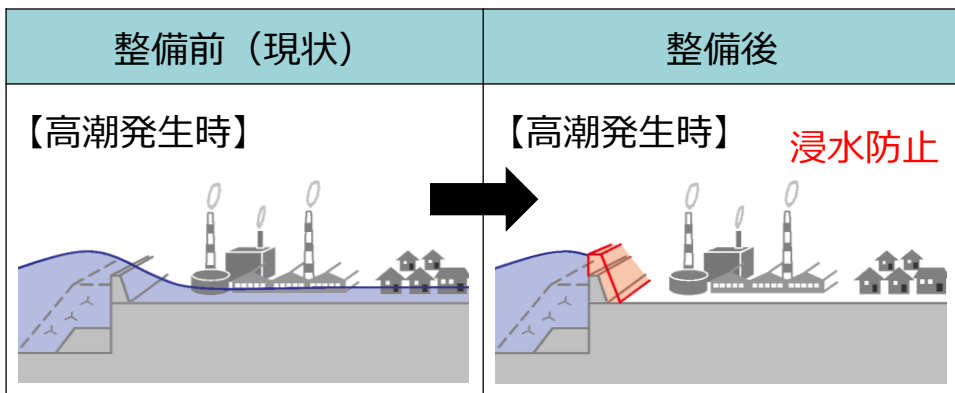
【事業の概要】

- ・整備施設：
 - 護岸(改良) (915m)
 - 胸壁(改良) (1,255m)
 - 陸閘(改良) (7基)
 - ▲ 排水機場 (1箇所)
 - **水門 (1基)**

・事業期間：令和4年度～令和15年度

・総事業費：300億円

【事業の効果】



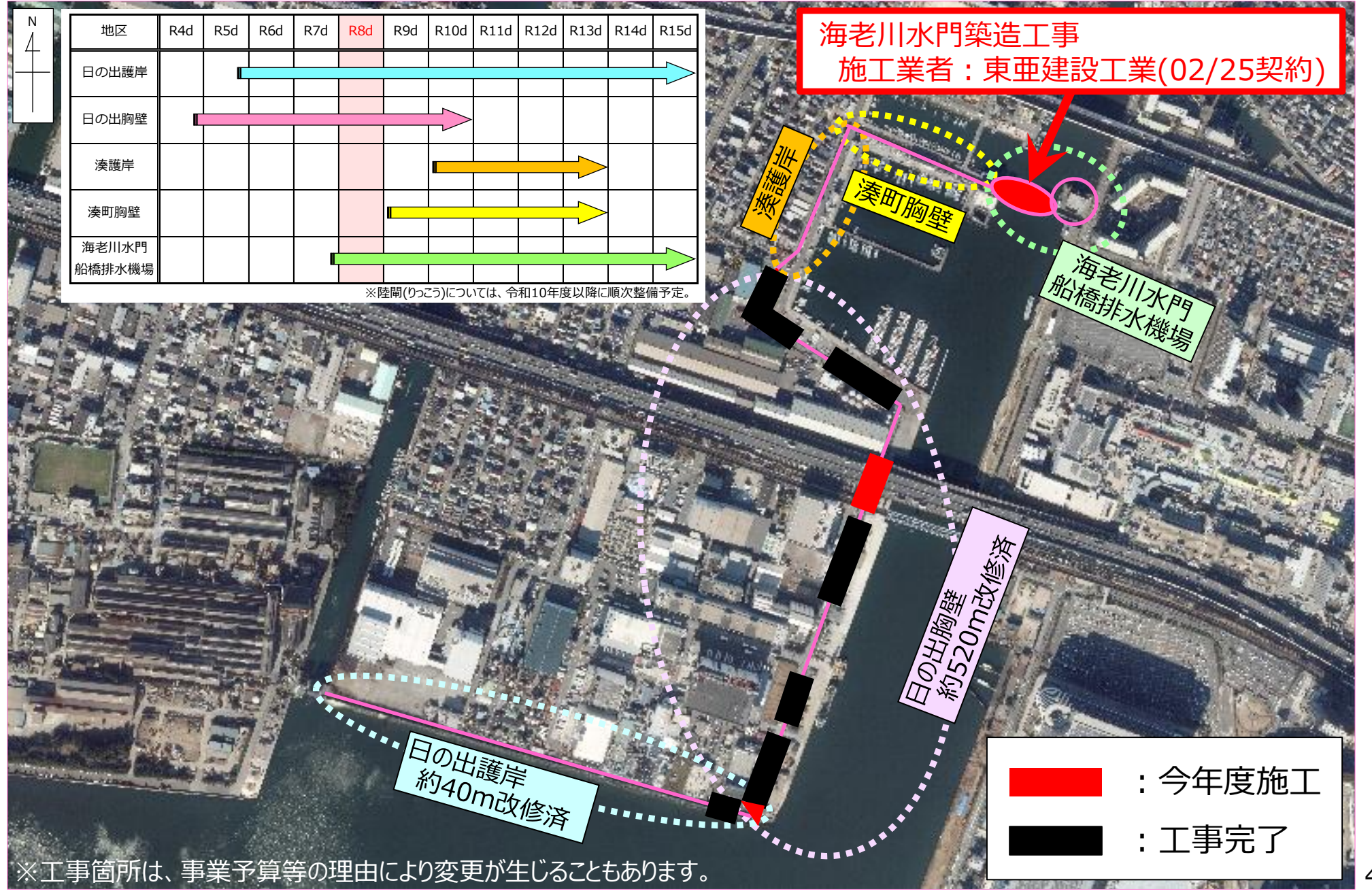
事業スケジュール (予定)

注意：事業スケジュールは、事業予算等の理由により変更が生じることもあります。

地区	R4d	R5d	R6d	R7d	R8d	R9d	R10d	R11d	R12d	R13d	R14d	R15d
日の出護岸												
日の出胸壁												
湊護岸												
湊町胸壁												
海老川水門 船橋排水機場												

※陸開(りっこう)については、令和10年度以降に順次整備予定。

海老川水門築造工事
 施工業者：東亜建設工業(02/25契約)



■ : 今年度施工
■ : 工事完了

※工事箇所は、事業予算等の理由により変更が生じることもあります。

海老川水門工事の概要

○海老川水門工事の目的

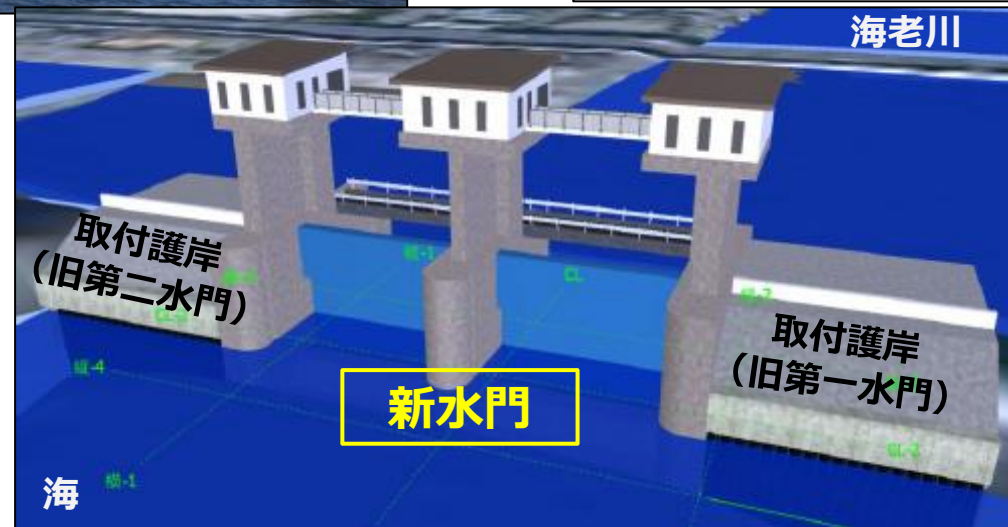
- ・老朽化対策
- ・地震対策
- ・高潮等大規模自然災害への対応

○海老川第一水門と第二水門の間に新水門を整備。新水門の整備後は、現在の2つの水門を撤去。

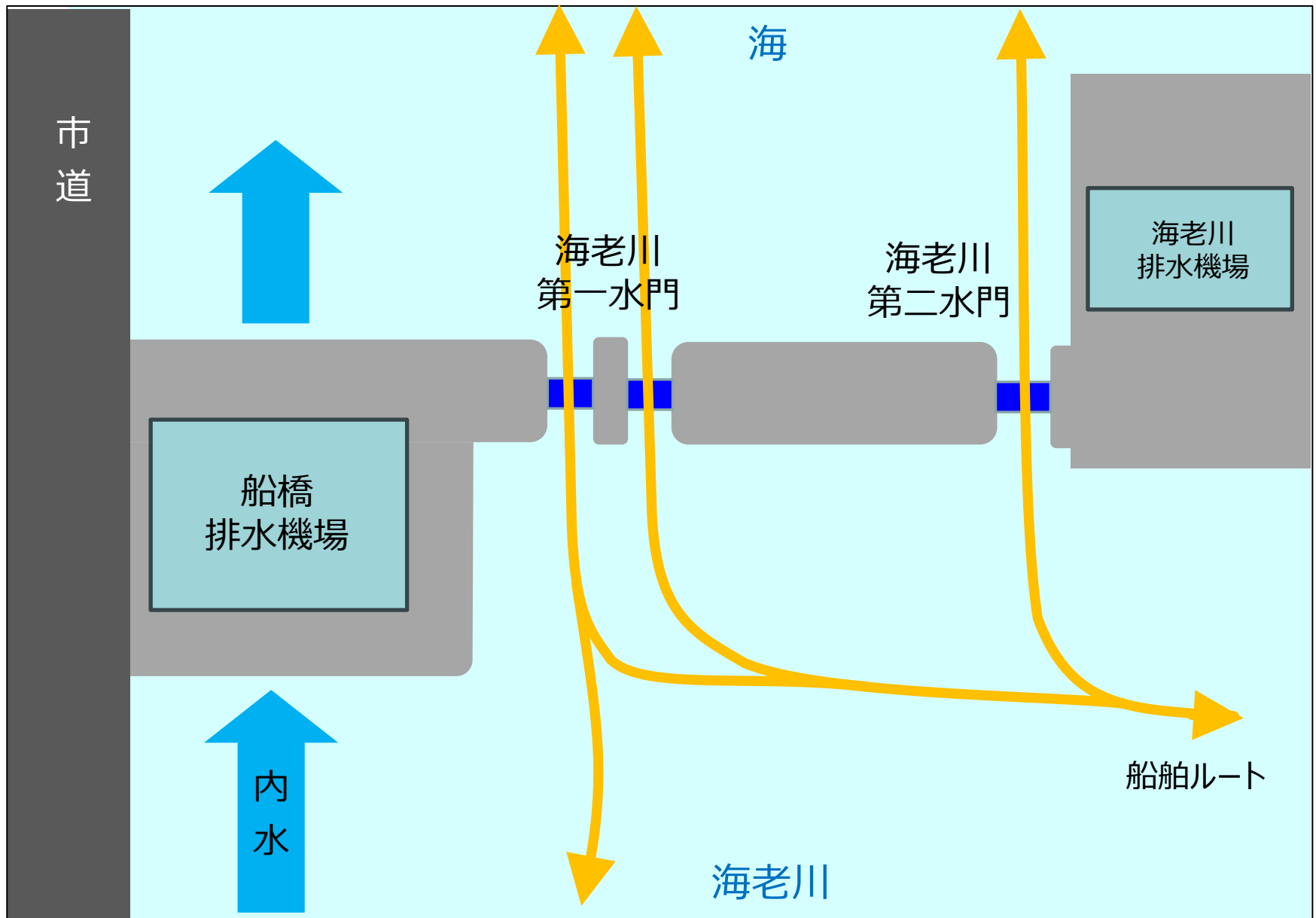
○工事は令和8年度から令和11年度を予定。（新水門の整備後、船橋排水機場の工事に着手予定）



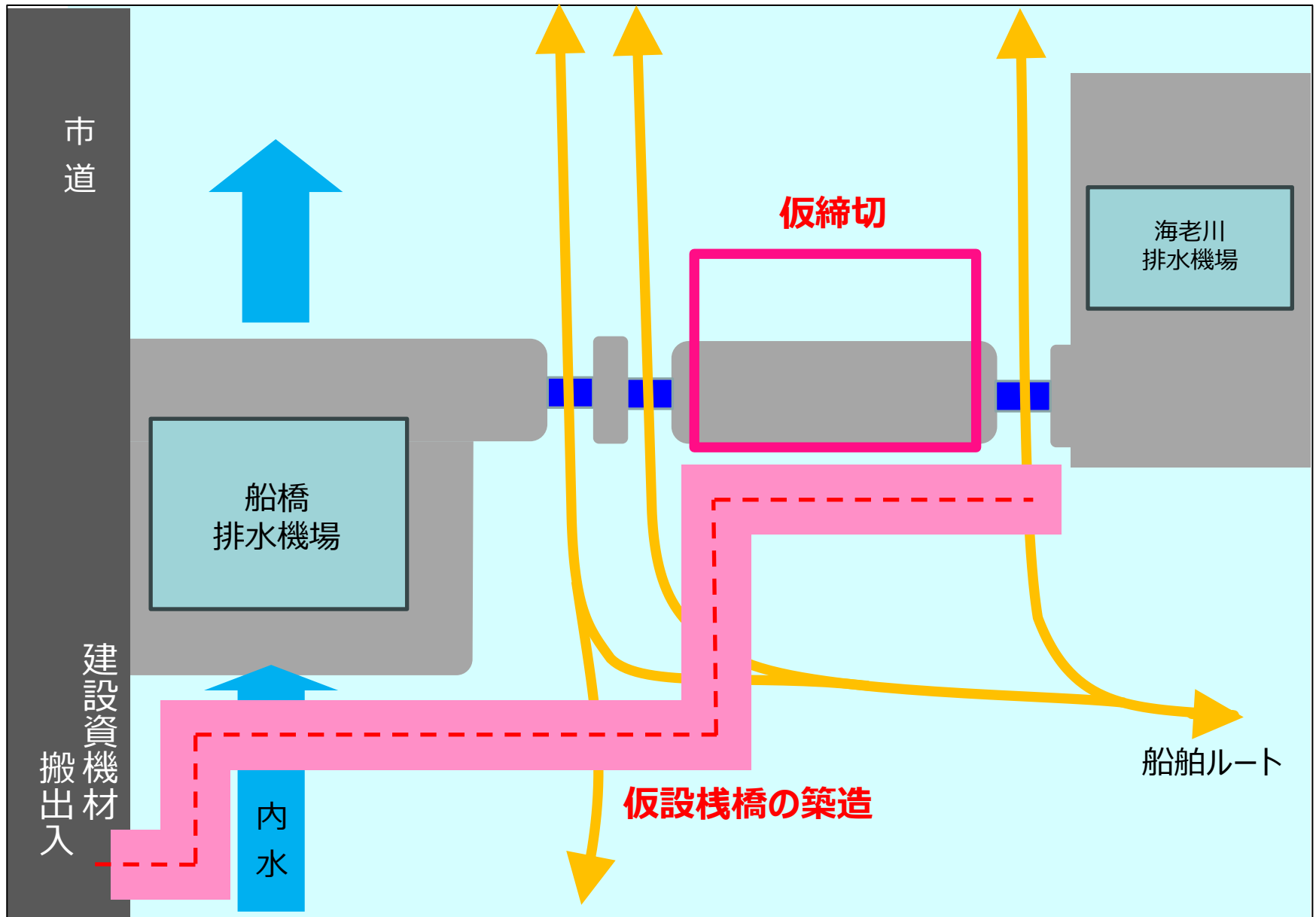
新水門のイメージ図



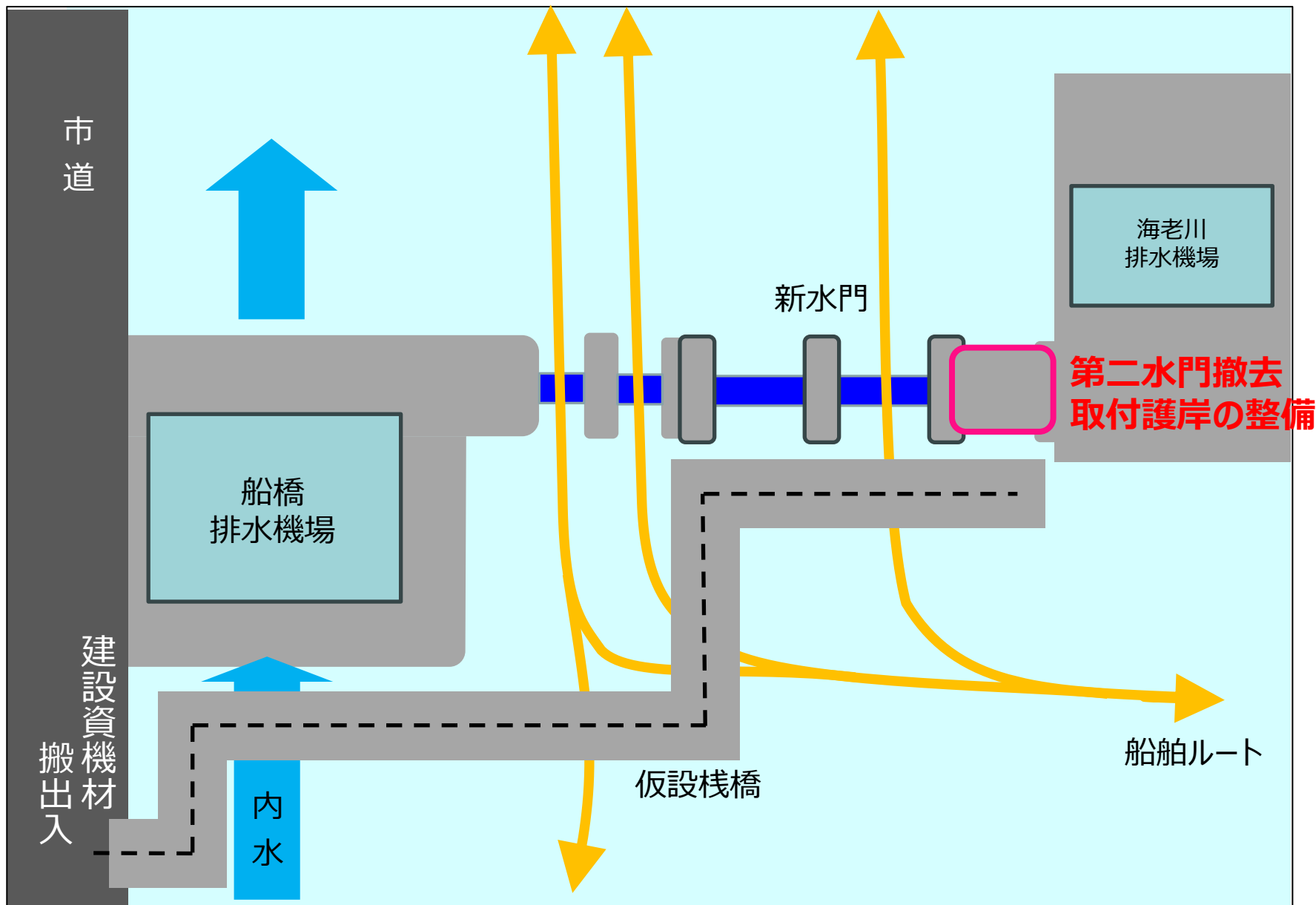
現況



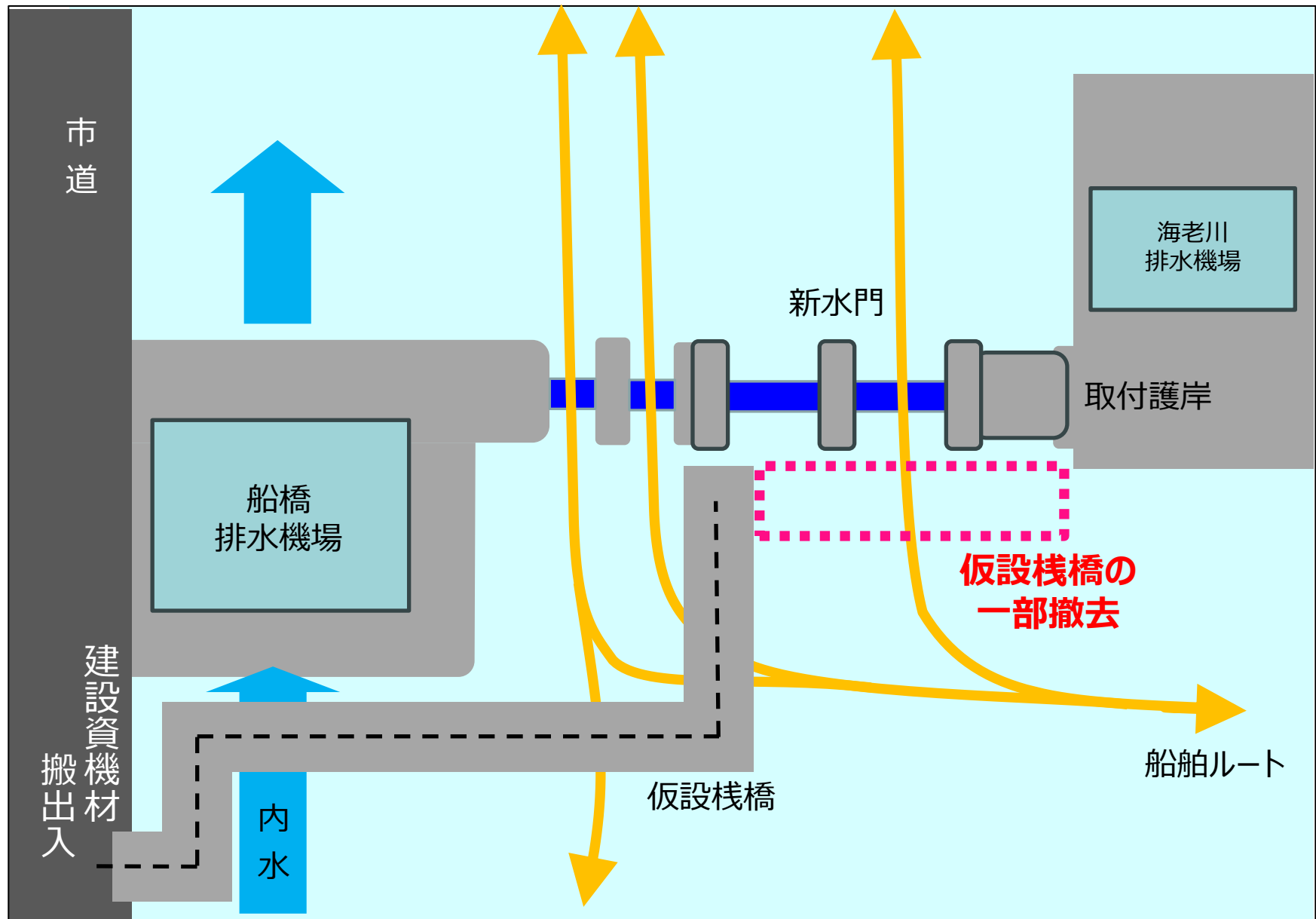
ステップ1：仮設棧橋の築造、水門新設工事(仮締切)



ステップ3 : 第二水門の撤去、取付護岸の整備

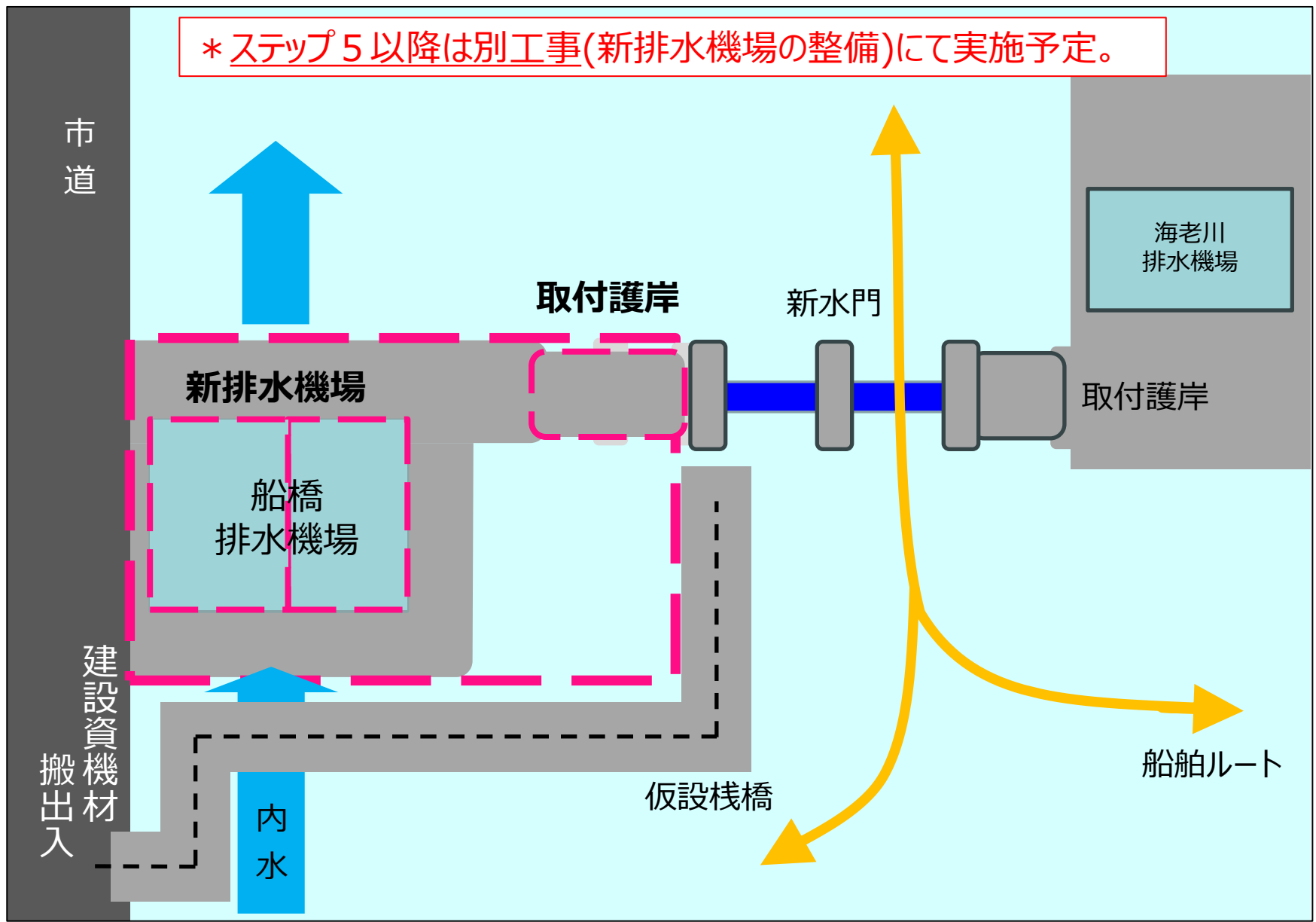


ステップ4 : 仮設栈橋の一部撤去



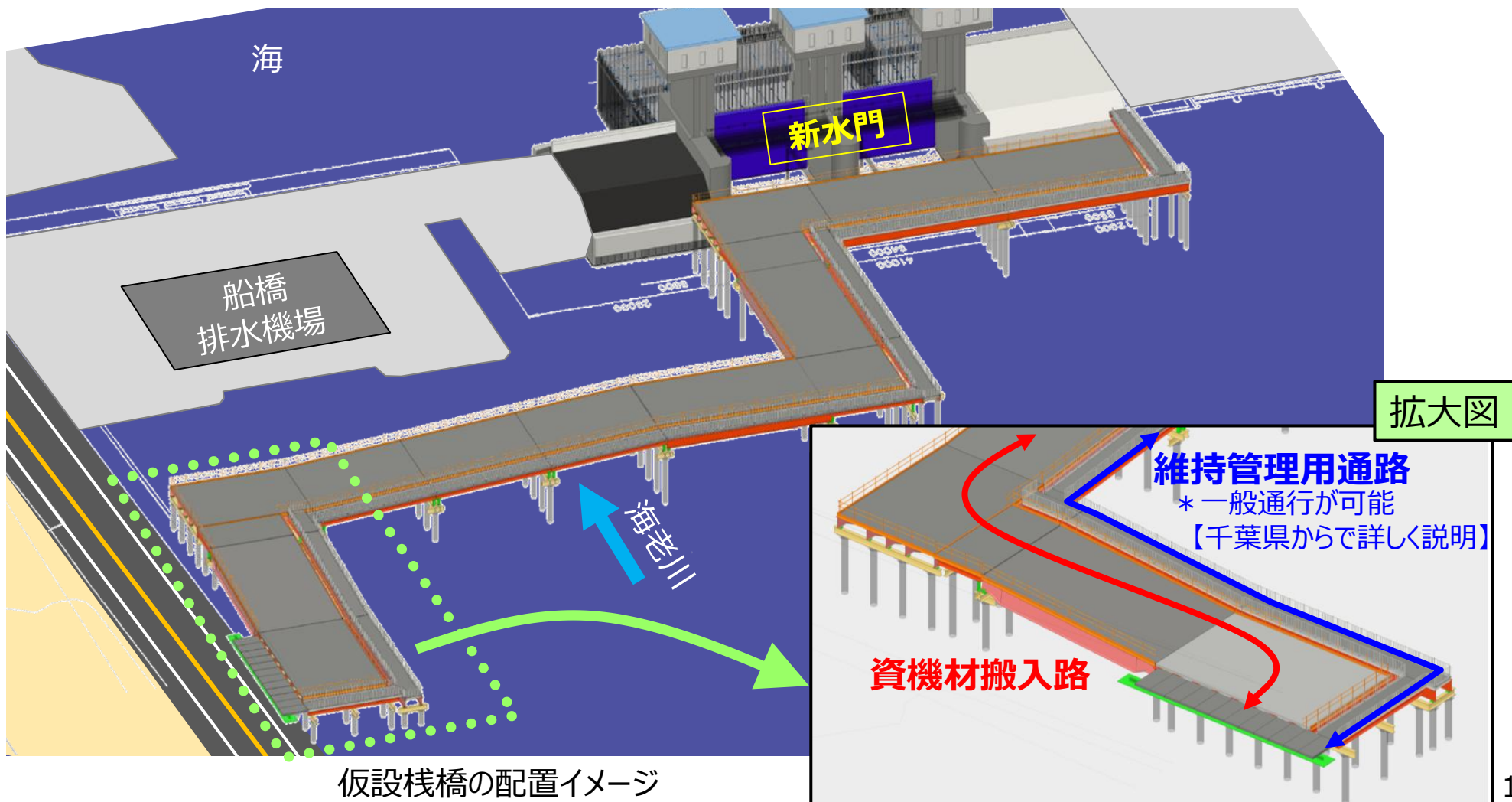
(ステップ5 : 第一水門の撤去、取付護岸の整備、新排水機場の設置工事)

* ステップ5以降は別工事(新排水機場の整備)にて実施予定。



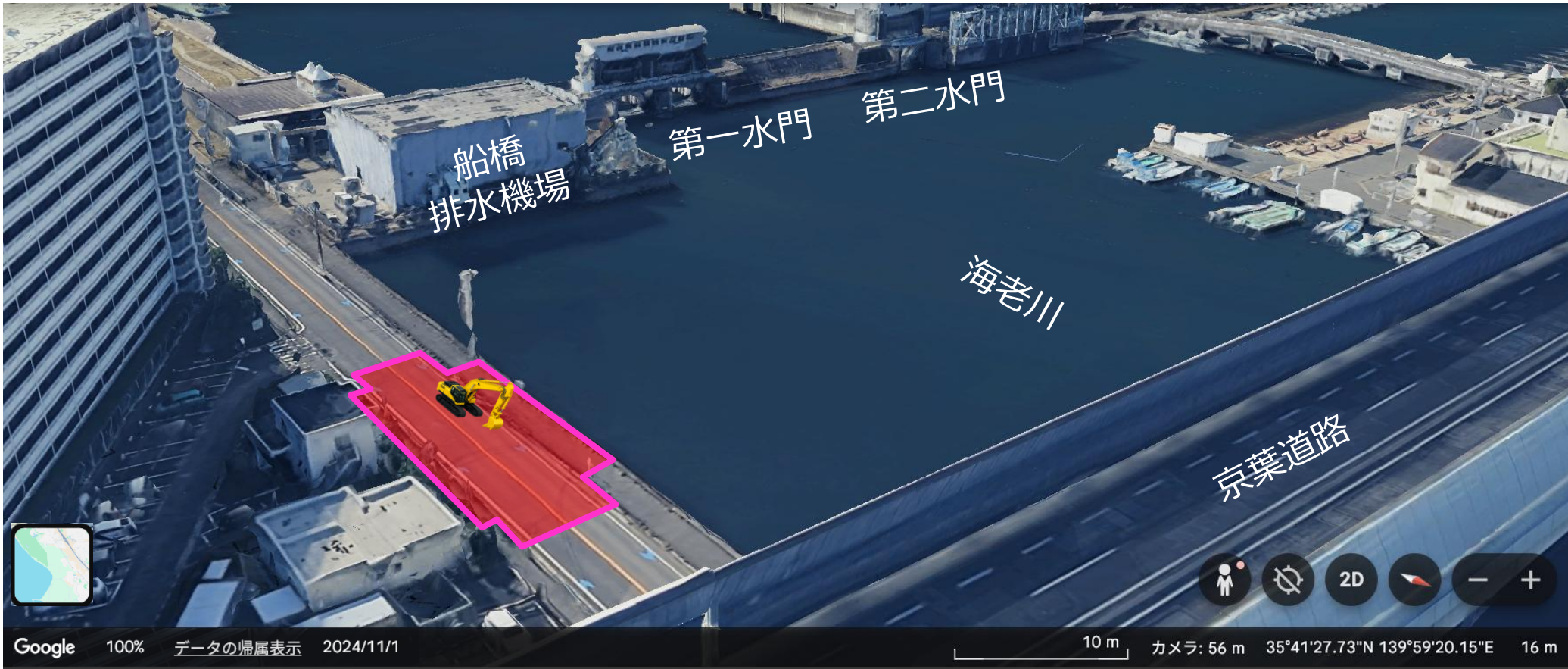
仮設栈橋を築造する目的

- 仮設栈橋は次の2つの用途に用いるために築造。
 - ・ 水門改修のための作業ヤードおよび資機材搬入路
 - ・ 既設水門の維持管理用通路
- 市道から資機材搬入を行う際は、出入口に交通誘導警備員を配置し安全に誘導。
- 仮設栈橋を設置することで、工事中も船舶の航行が可能。



仮設栈橋の配置イメージ

ステップ〔1〕：市道を仮設栈橋の高さまで嵩上げ **【交通規制あり】**



* 下図は「Google Earth」を使用

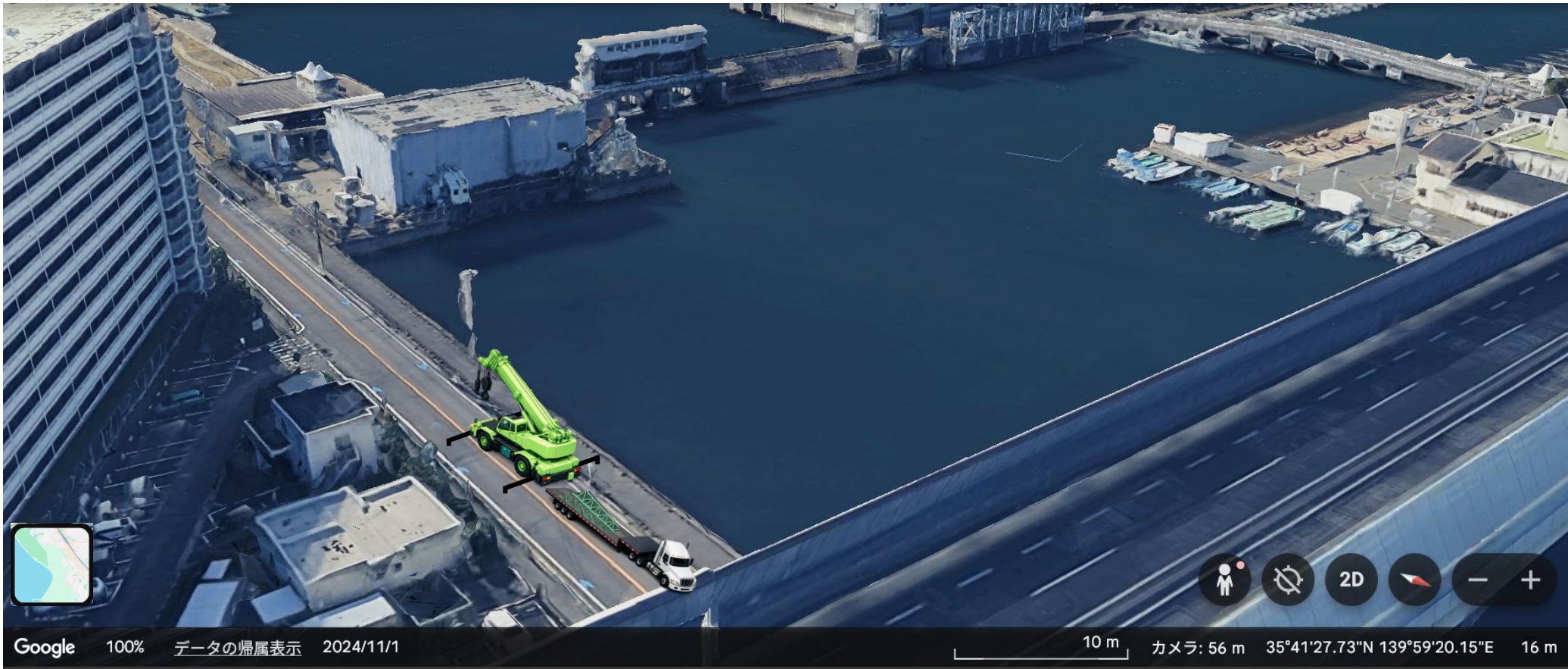


Google Earth
10.102.78.2
©2026 Google LLC. ALL rights reserved.

データの帰属表示
この地図データに含まれるデータプロバイダ:
Landsat / Copernicus
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO
Airbus

次の日付の画像:
2005/10/1~2025/11/10
一部の表示画像は日付情報が不明です

ステップ〔2〕：道路上にクレーンを組立 **【交通規制あり】**



* 下図は「Google Earth」を使用

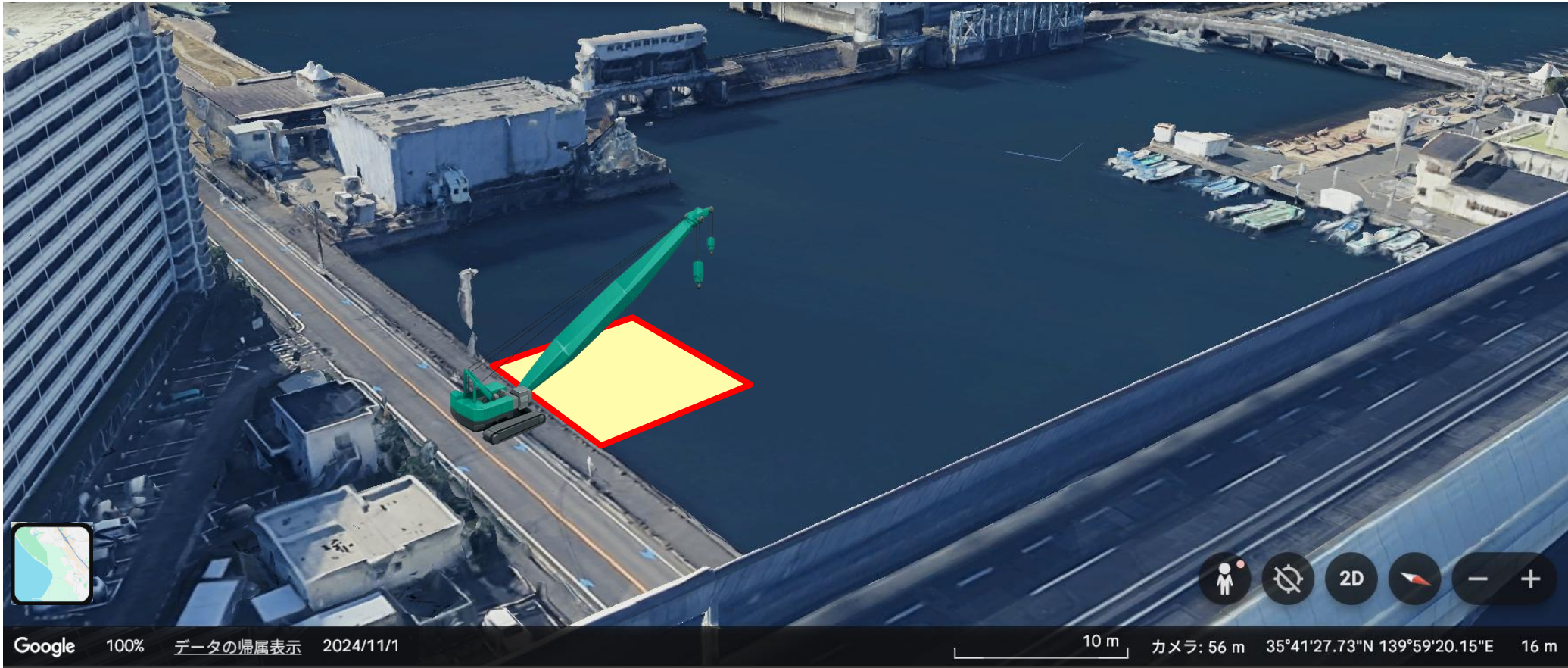


Google Earth
10.102.78.2
©2026 Google LLC. ALL rights reserved.

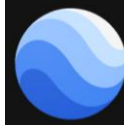
データの帰属表示
この地図データに含まれるデータプロバイダ:
Landsat / Copernicus
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO
Airbus

次の日付の画像:
2005/10/1~2025/11/10
一部の表示画像は日付情報が不明です

ステップ〔3〕：道路上から仮設栈橋(乗入れ部)を築造 **【交通規制あり】**



* 下図は「Google Earth」を使用

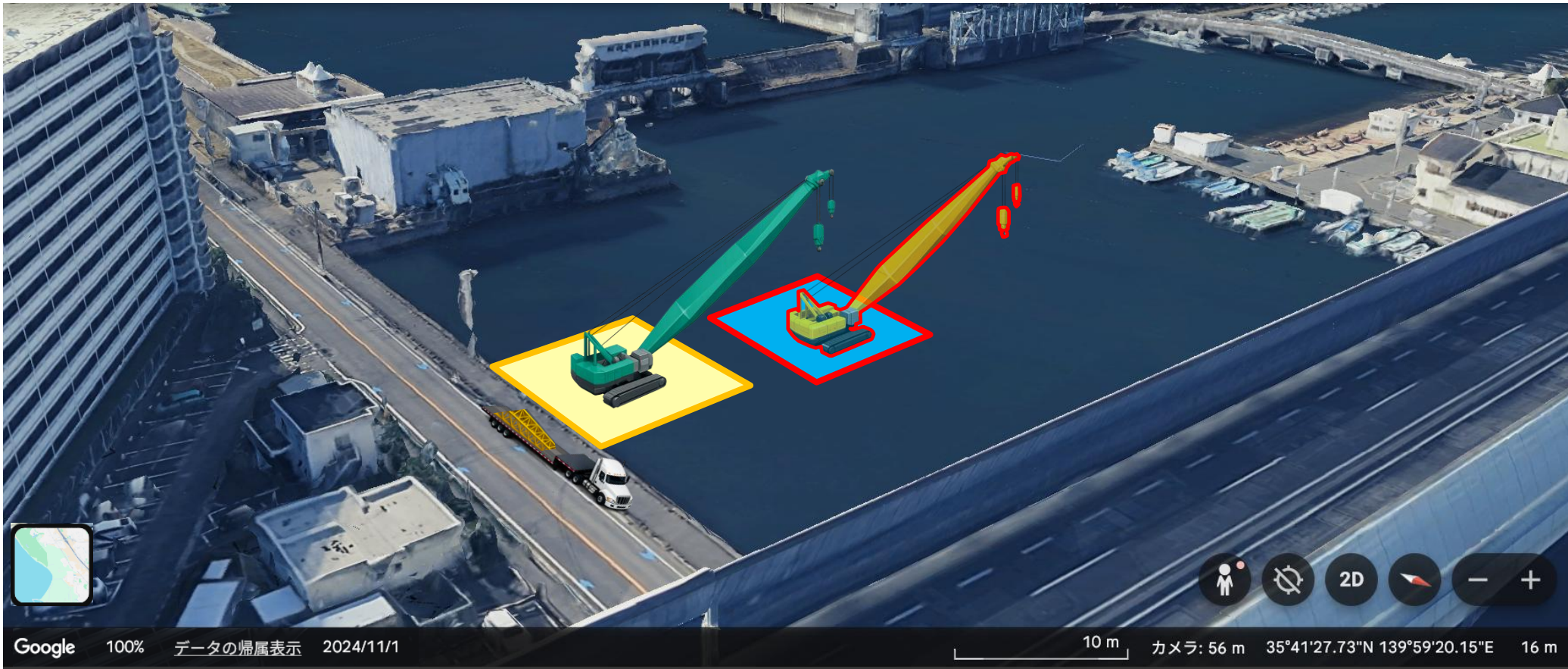


Google Earth
10.102.78.2
©2026 Google LLC. ALL rights reserved.

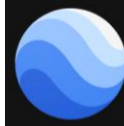
データの帰属表示
この地図データに含まれるデータプロバイダ:
Landsat / Copernicus
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO
Airbus

次の日付の画像:
2005/10/1~2025/11/10
一部の表示画像は日付情報が不明です

ステップ〔4〕：乗入れ部から組立台船とクレーンを組立 **【交通規制あり】**



* 下図は「Google Earth」を使用

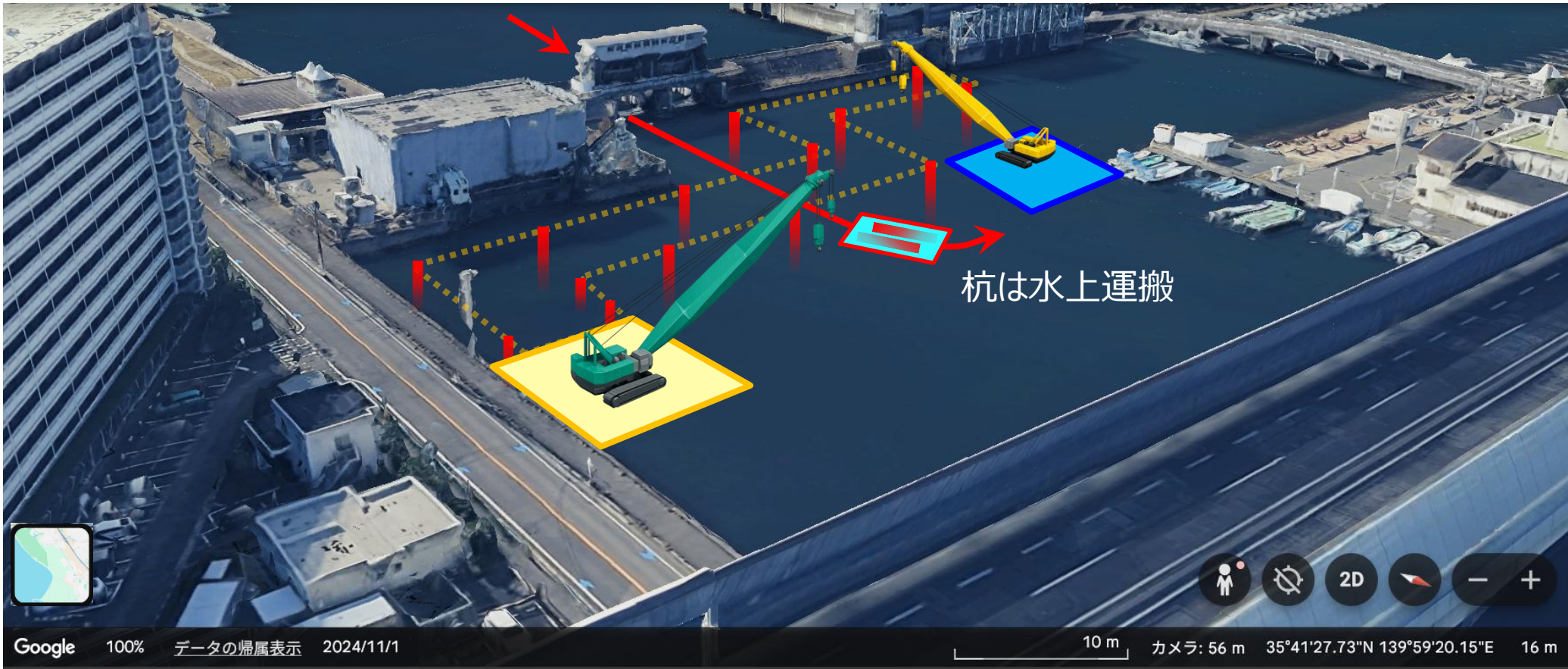


Google Earth
10.102.78.2
©2026 Google LLC. ALL rights reserved.

データの帰属表示
この地図データに含まれるデータプロバイダ：
Landsat / Copernicus
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO
Airbus

次の日付の画像：
2005/10/1~2025/11/10
一部の表示画像は日付情報が不明です

ステップ〔5〕：水上から仮設栈橋の基礎(鋼管杭)を打設 【交通規制なし】



* 下図は「Google Earth」を使用

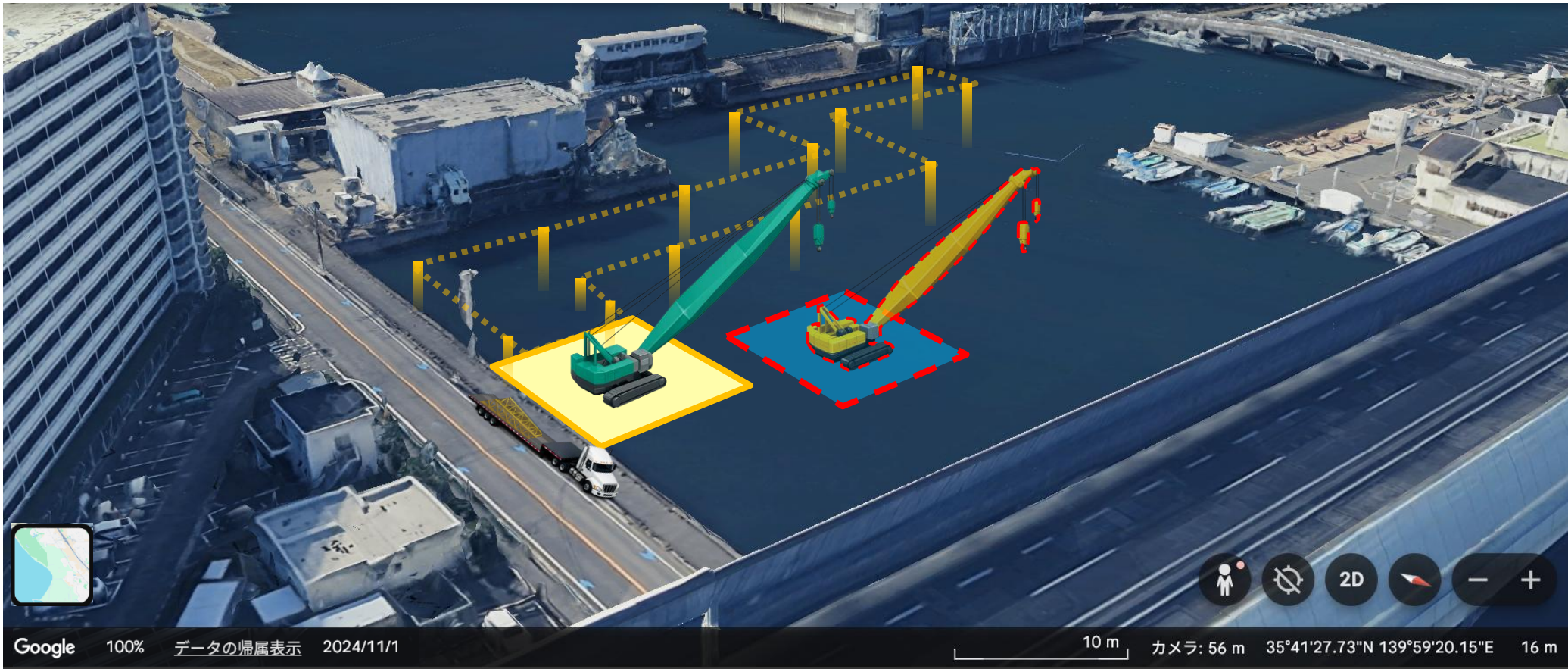


Google Earth
10.102.78.2
©2026 Google LLC. ALL rights reserved.

データの帰属表示
この地図データに含まれるデータプロバイダ:
Landsat / Copernicus
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO
Airbus

次の日付の画像:
2005/10/1~2025/11/10
一部の表示画像は日付情報が不明です

ステップ〔6〕：乗入れ部から組立台船とクレーンを分解 **【交通規制あり】**



* 下図は「Google Earth」を使用

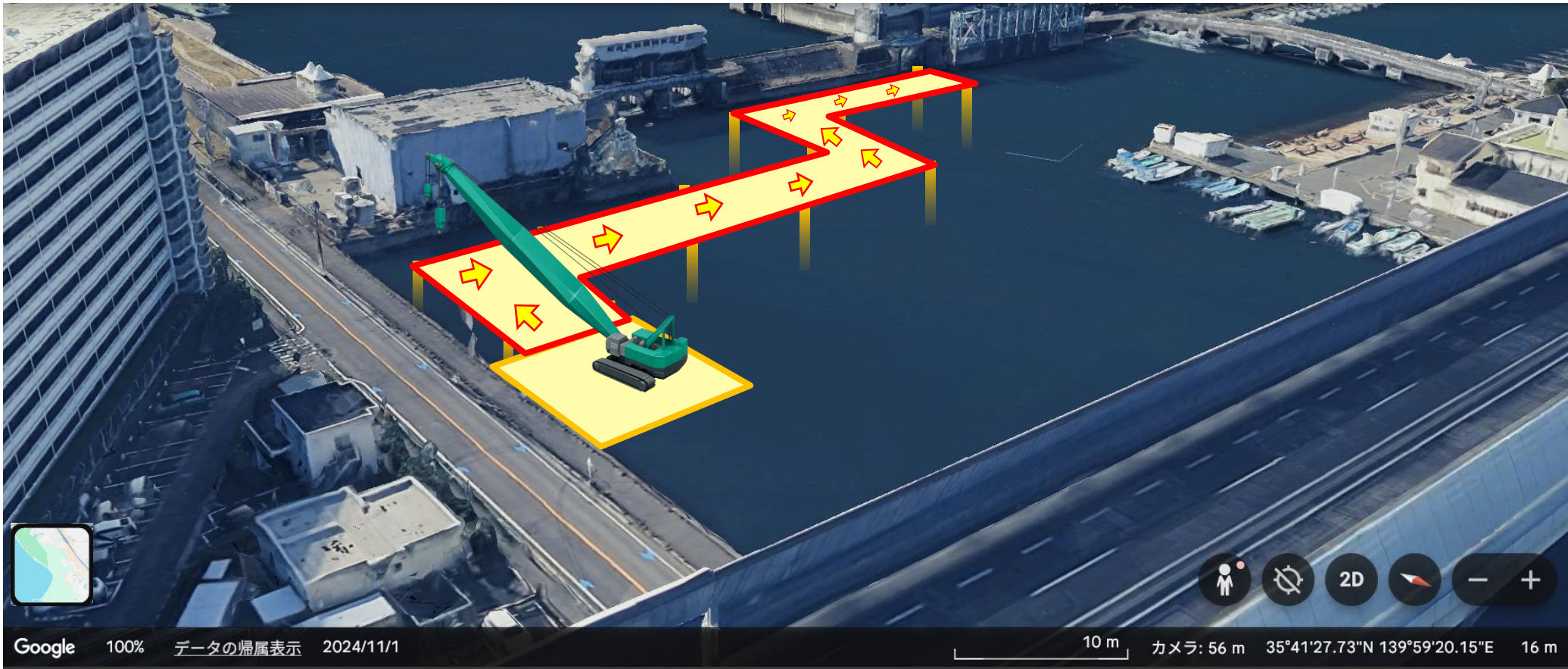


Google Earth
10.102.78.2
©2026 Google LLC. ALL rights reserved.

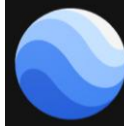
データの帰属表示
この地図データに含まれるデータプロバイダ:
Landsat / Copernicus
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO
Airbus

次の日付の画像:
2005/10/1~2025/11/10
一部の表示画像は日付情報が不明です

ステップ〔7〕：乗入れ部から仮設栈橋上部(橋桁など)を設置 **【規制方法検討中】**



* 下図は「Google Earth」を使用

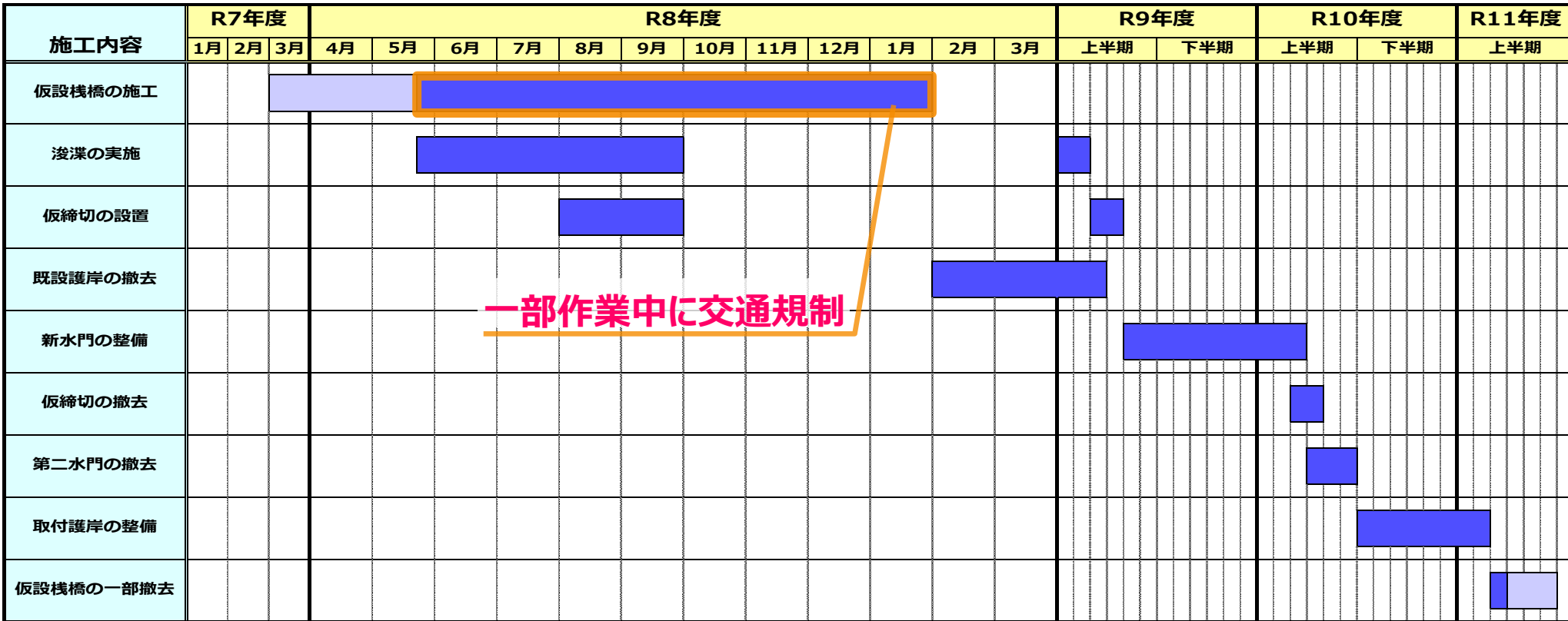


Google Earth
10.102.78.2
©2026 Google LLC. ALL rights reserved.

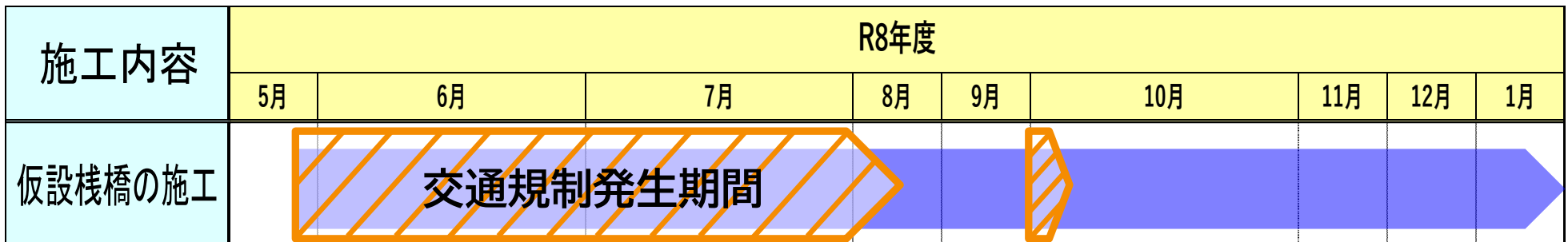
データの帰属表示
この地図データに含まれるデータプロバイダ:
Landsat / Copernicus
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO
Airbus

次の日付の画像:
2005/10/1~2025/11/10
一部の表示画像は日付情報が不明です

全体工程

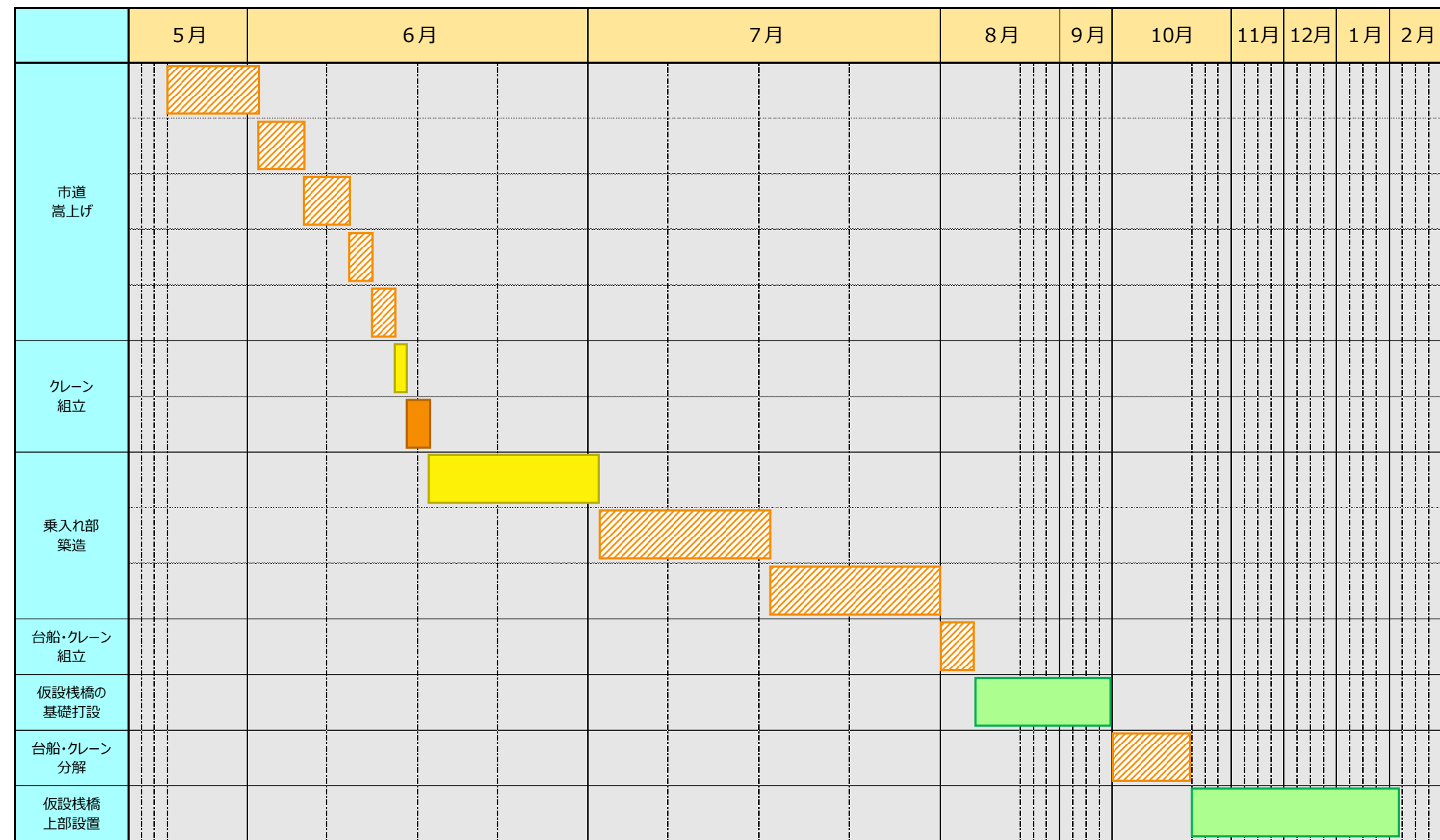



市道の交通規制を行う期間




仮設栈橋施工の詳細工程


注意：作業工程は、工事進捗等の理由により変更が生じることもあります。



夜間交互： 

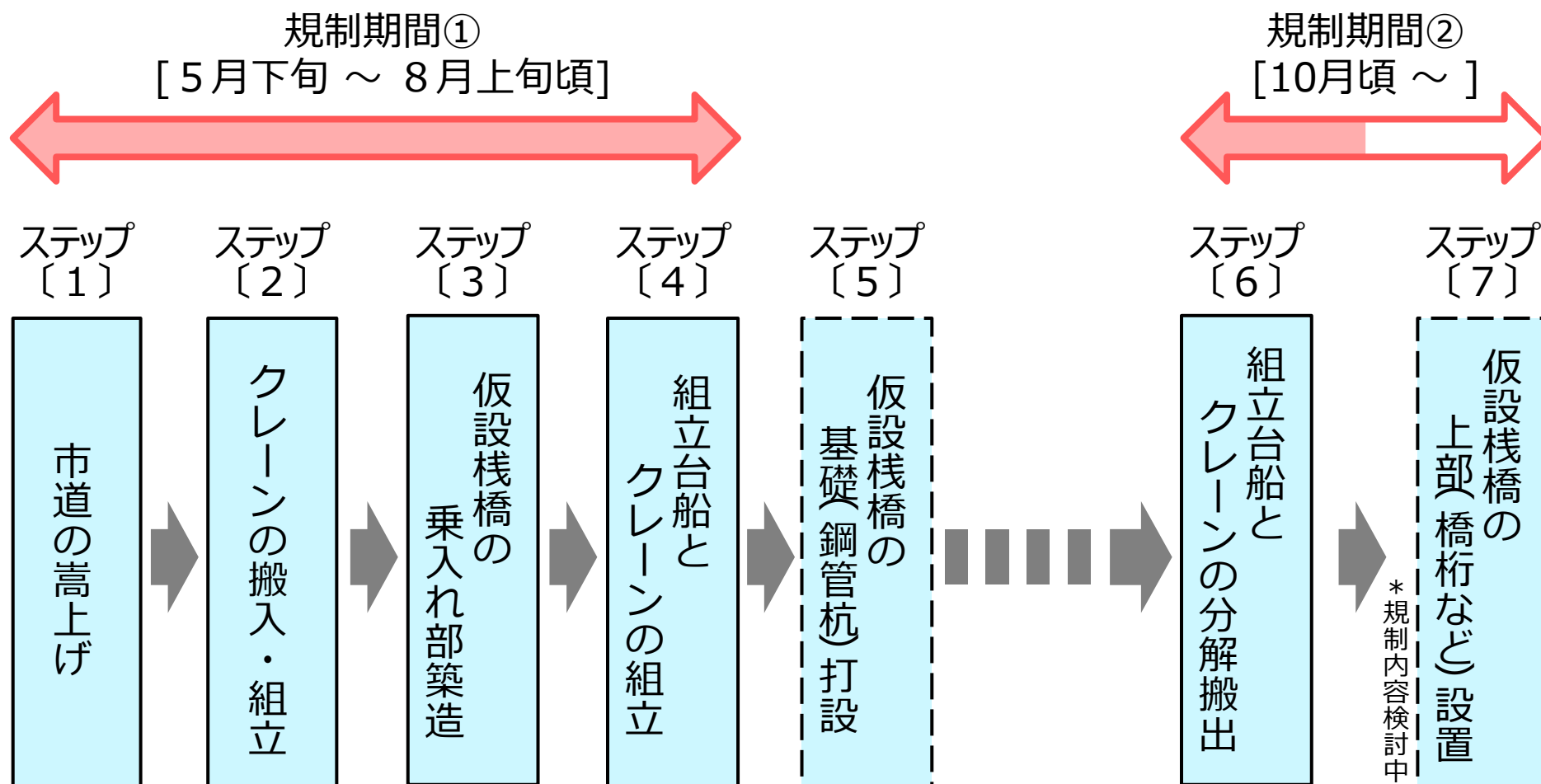
終日交互： 

夜間通行止め, 昼間交互： 

規制なし： 

- 協議結果(交通影響を最小化)により、**車道の規制を伴う作業については原則夜間(22:00~5:00)に実施。**
- 「規制期間①」は5月下旬から8月上旬頃まで実施予定。(雨天や休日による予備日を含む)
- 「規制期間②」は10月頃から実施予定。

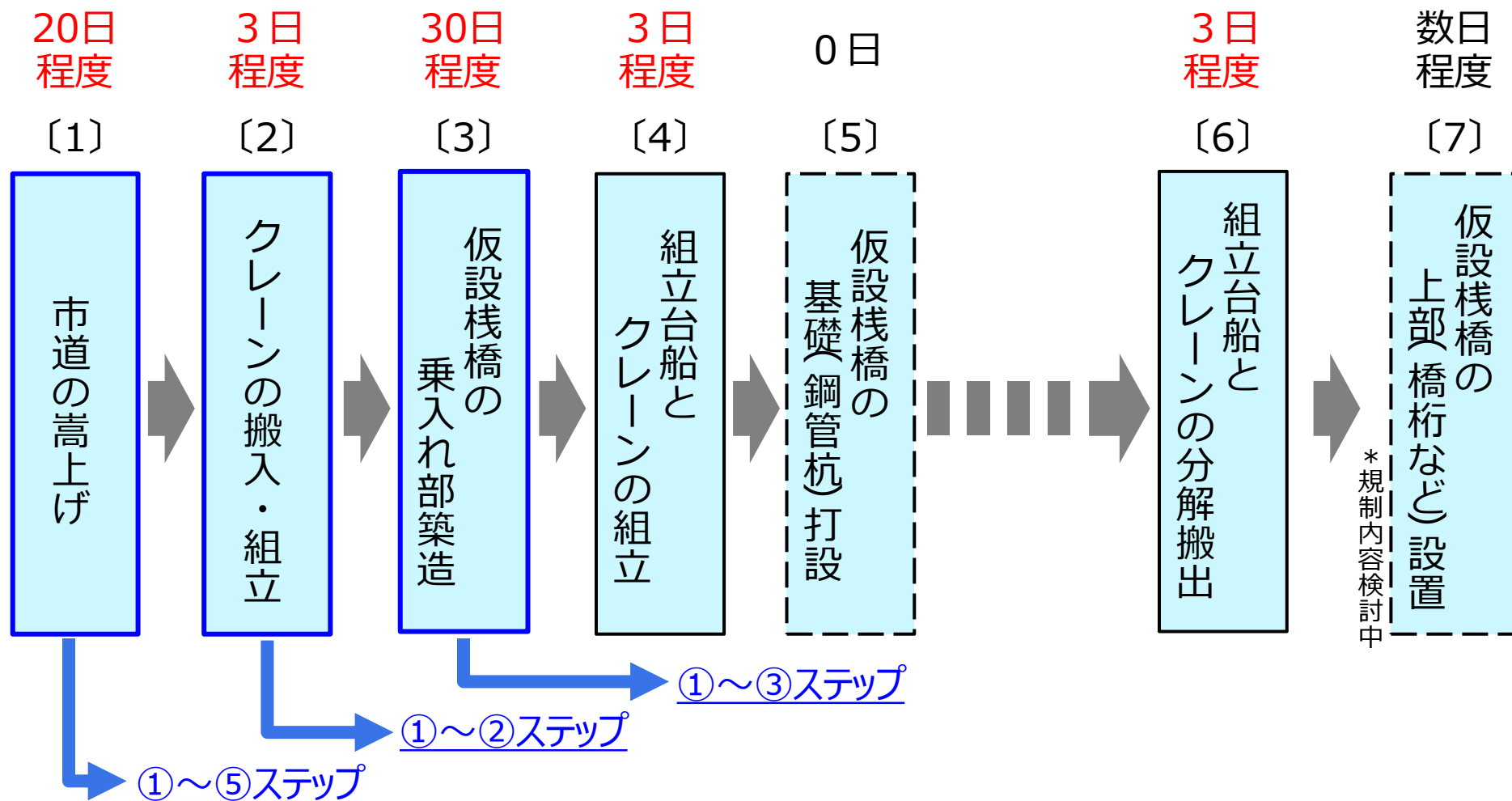
*** 交通規制の実施前には、必ず案内看板等で事前周知いたします。**



市道の交通規制を伴う作業の概要

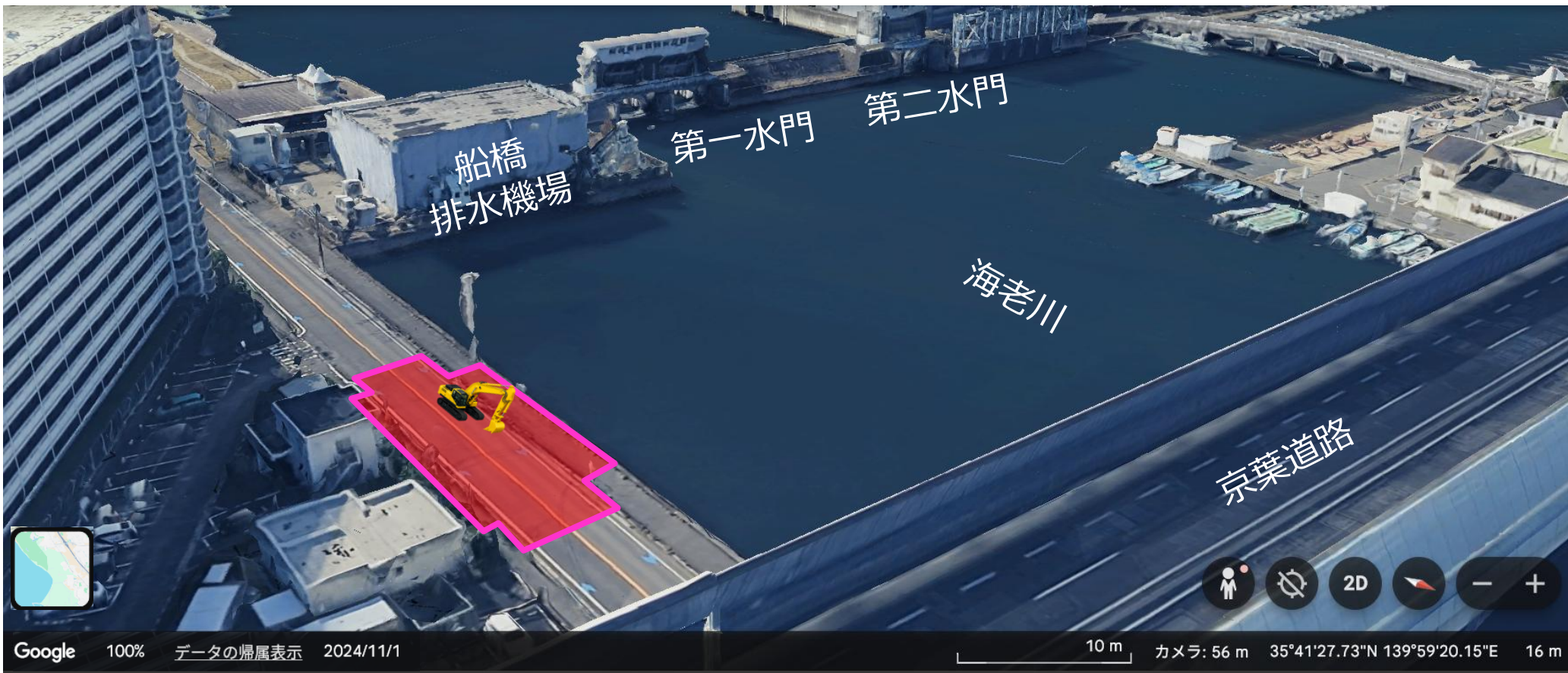
- 交通影響を最小限に抑えるため、細かく施工ステップを分けて実施。(交通規制方法を細かく設定)
- 規制作業中は規制帯の起終点に交通誘導警備員を配置し、通行車両を安全に誘導。
(作業時間外においても車道を規制する場合は交通誘導警備員を配置)

規制作業日数(予定)

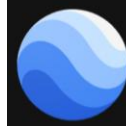


ステップ〔1〕：市道を仮設栈橋の高さまで嵩上げ **【交通規制あり】**

規制作業日数(予定)：20日程度



* 下図は「Google Earth」を使用

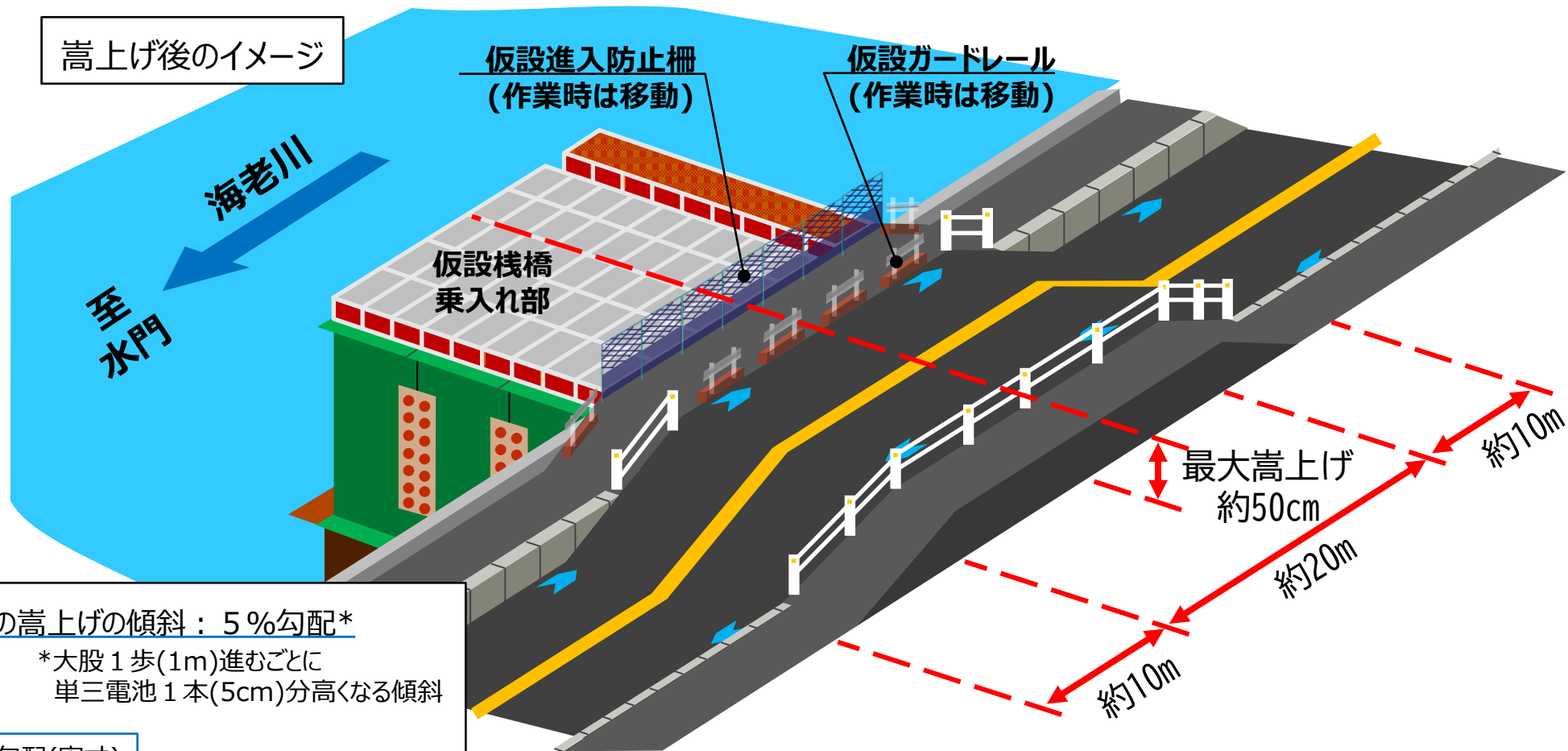


Google Earth

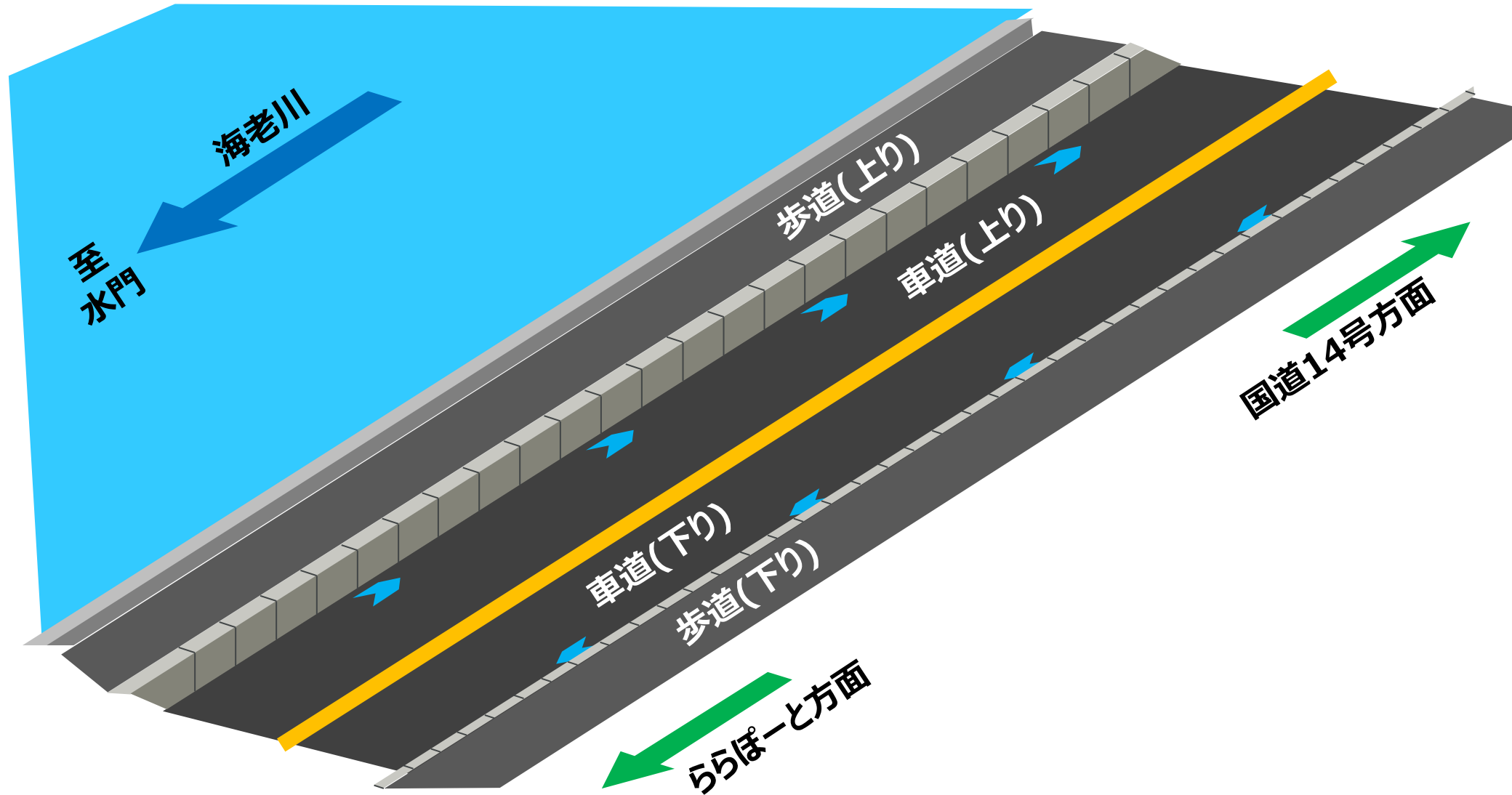
データの帰属表示
この地図データに含まれるデータプロバイダ：
Landsat / Copernicus
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO
Airbus

次の日付の画像：
2005/10/1~2025/11/10
一部の表示画像は日付情報が不明です

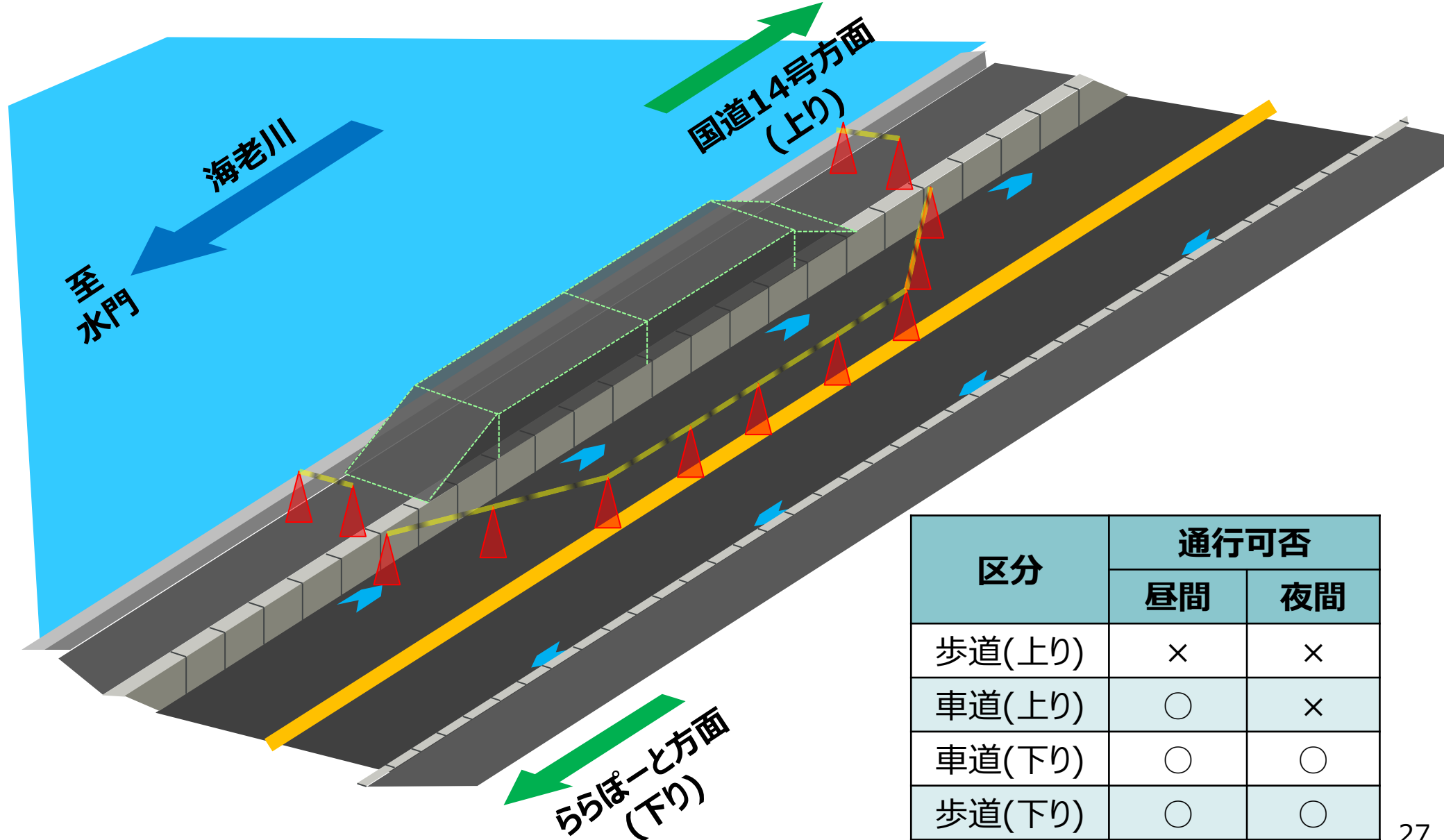
- 仮設栈橋(乗入れ部)と車道の落差を解消するための付帯工事。(最大落差50cm程度)
- 交通影響を最小限に抑えるために細かくステップを分けて実施。
- 車両の通行について、**作業中は片側交互通行、作業時間外は全面通行が可能。**



現況

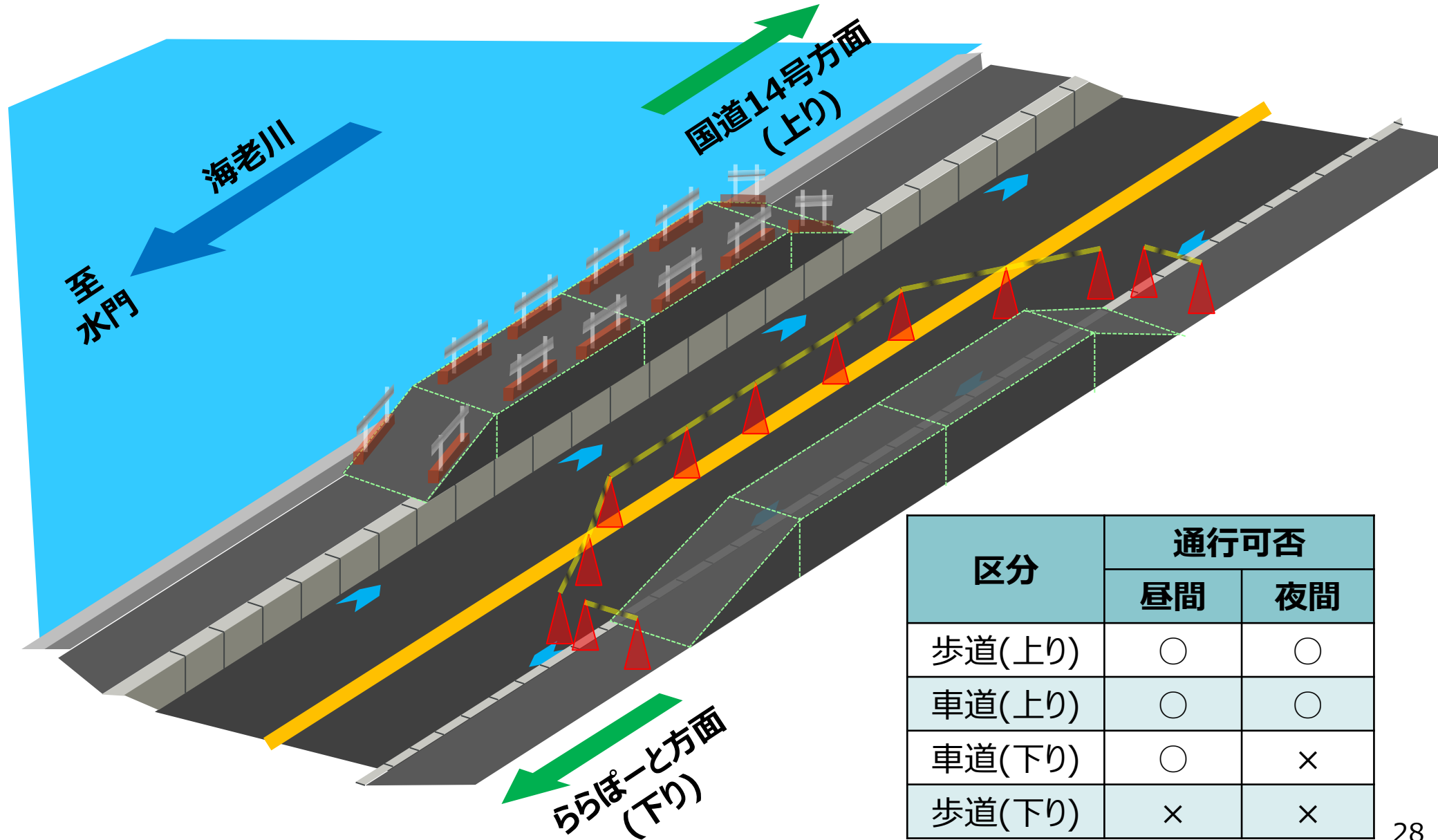


ステップ①：歩道(上り)の嵩上げ



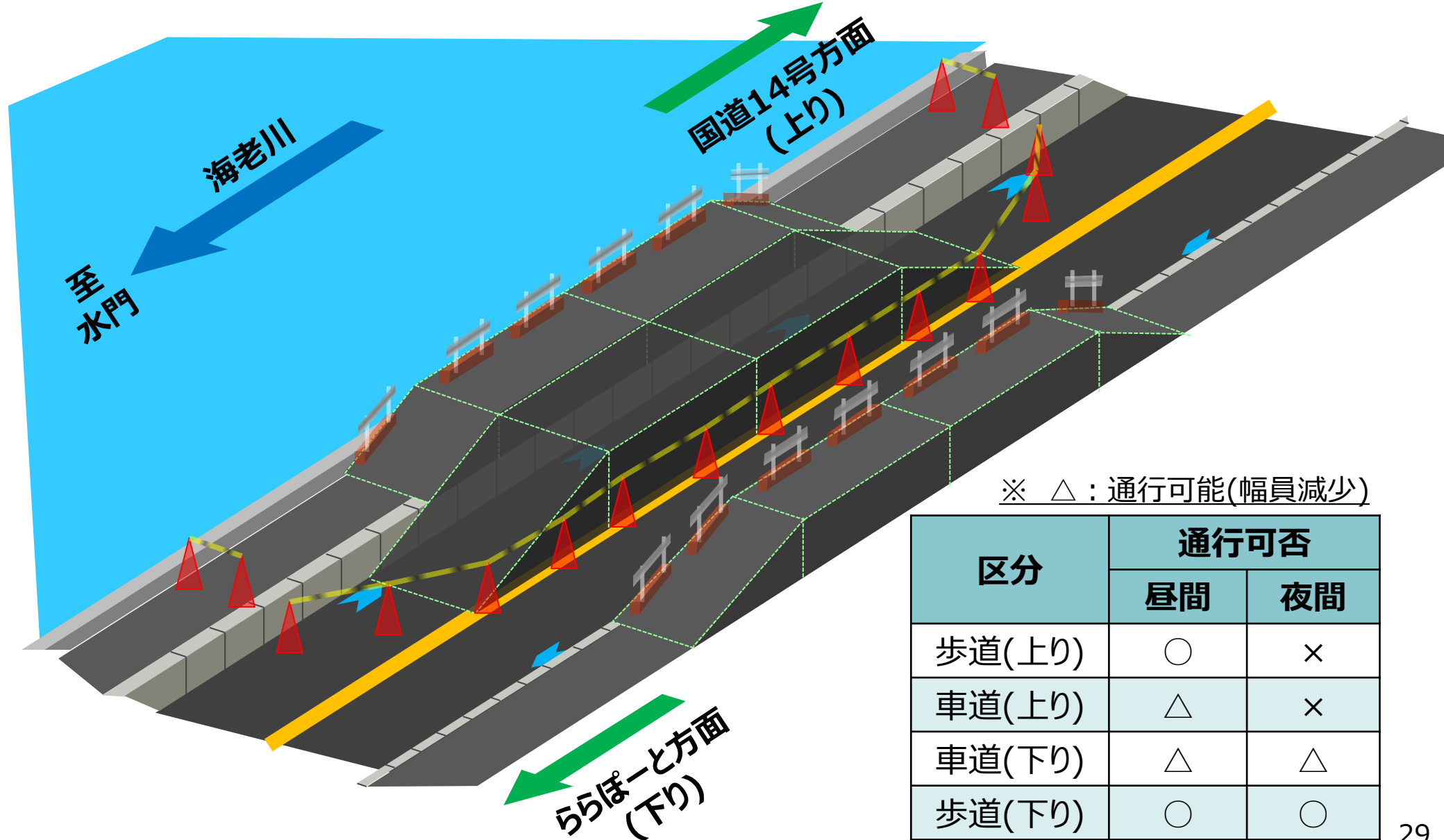
区分	通行可否	
	昼間	夜間
歩道(上り)	×	×
車道(上り)	○	×
車道(下り)	○	○
歩道(下り)	○	○

ステップ②：歩道(下り)の嵩上げ



区分	通行可否	
	昼間	夜間
歩道(上り)	○	○
車道(上り)	○	○
車道(下り)	○	×
歩道(下り)	×	×

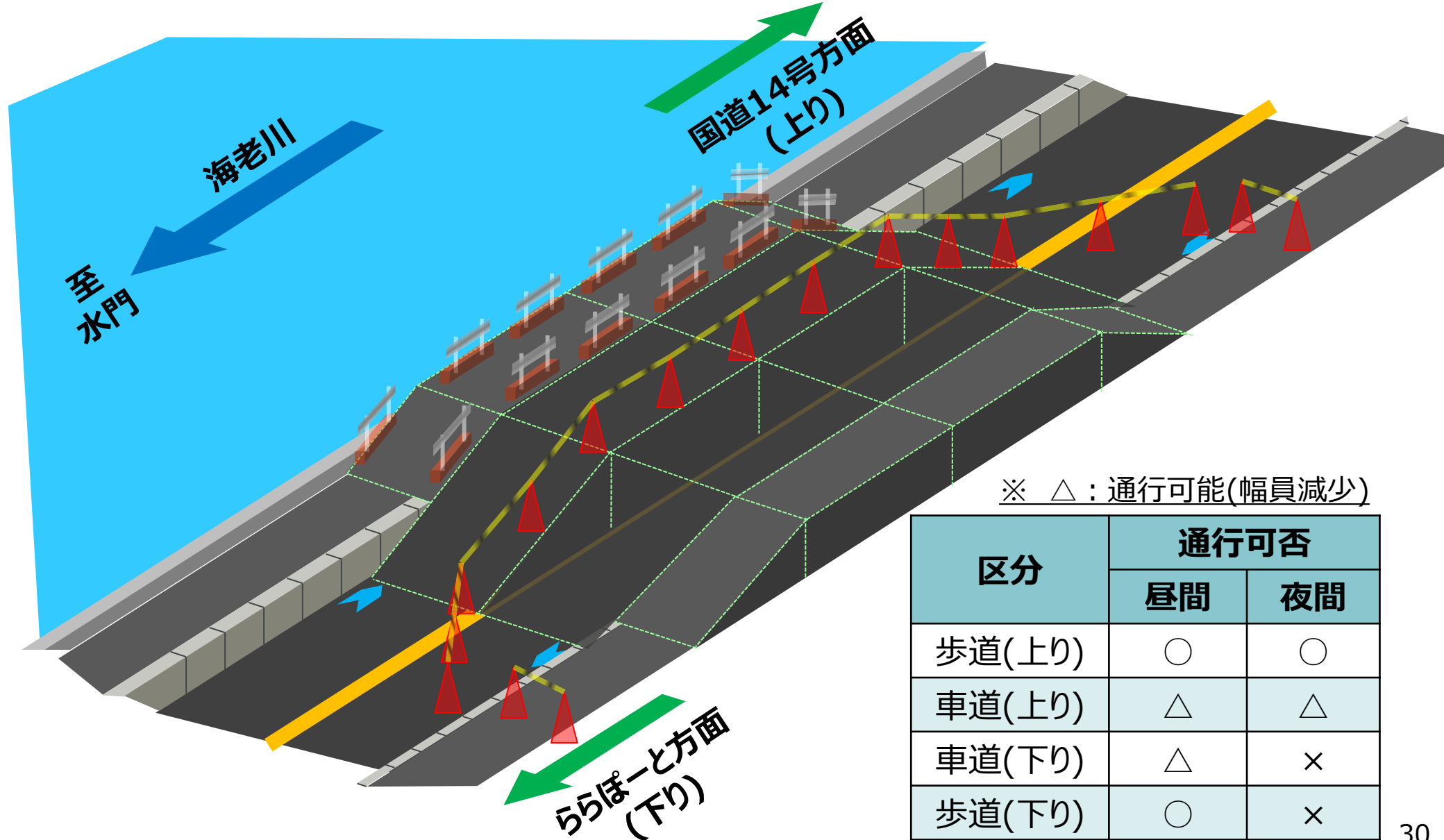
ステップ③：車道(上り)の嵩上げ



※ △：通行可能(幅員減少)

区分	通行可否	
	昼間	夜間
歩道(上り)	○	×
車道(上り)	△	×
車道(下り)	△	△
歩道(下り)	○	○

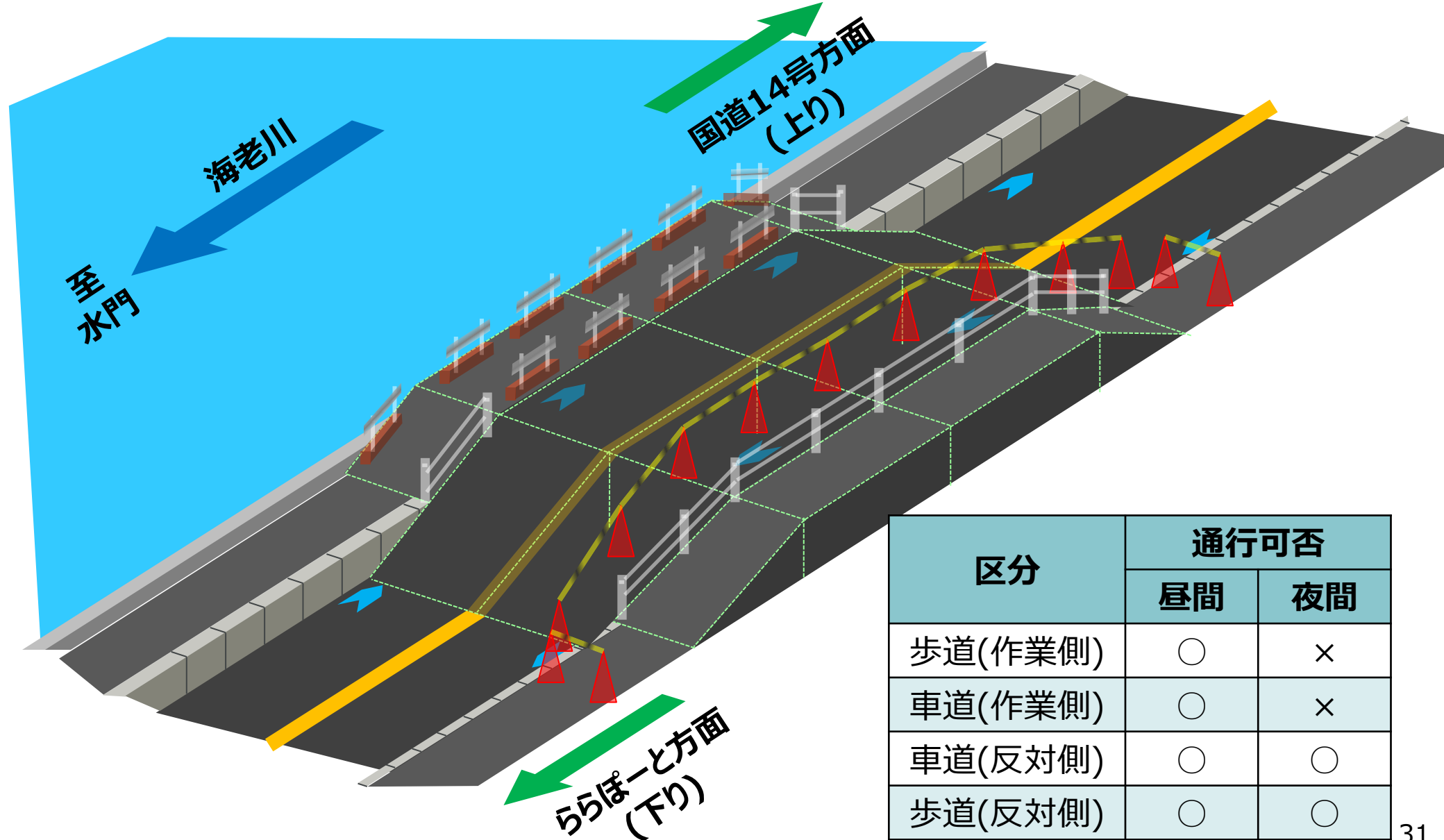
ステップ④：車道(下り)の嵩上げ



※ △：通行可能(幅員減少)

区分	通行可否	
	昼間	夜間
歩道(上り)	○	○
車道(上り)	△	△
車道(下り)	△	×
歩道(下り)	○	×

ステップ⑤：付帯工の実施(区画線の本復旧、安全施設の本設)

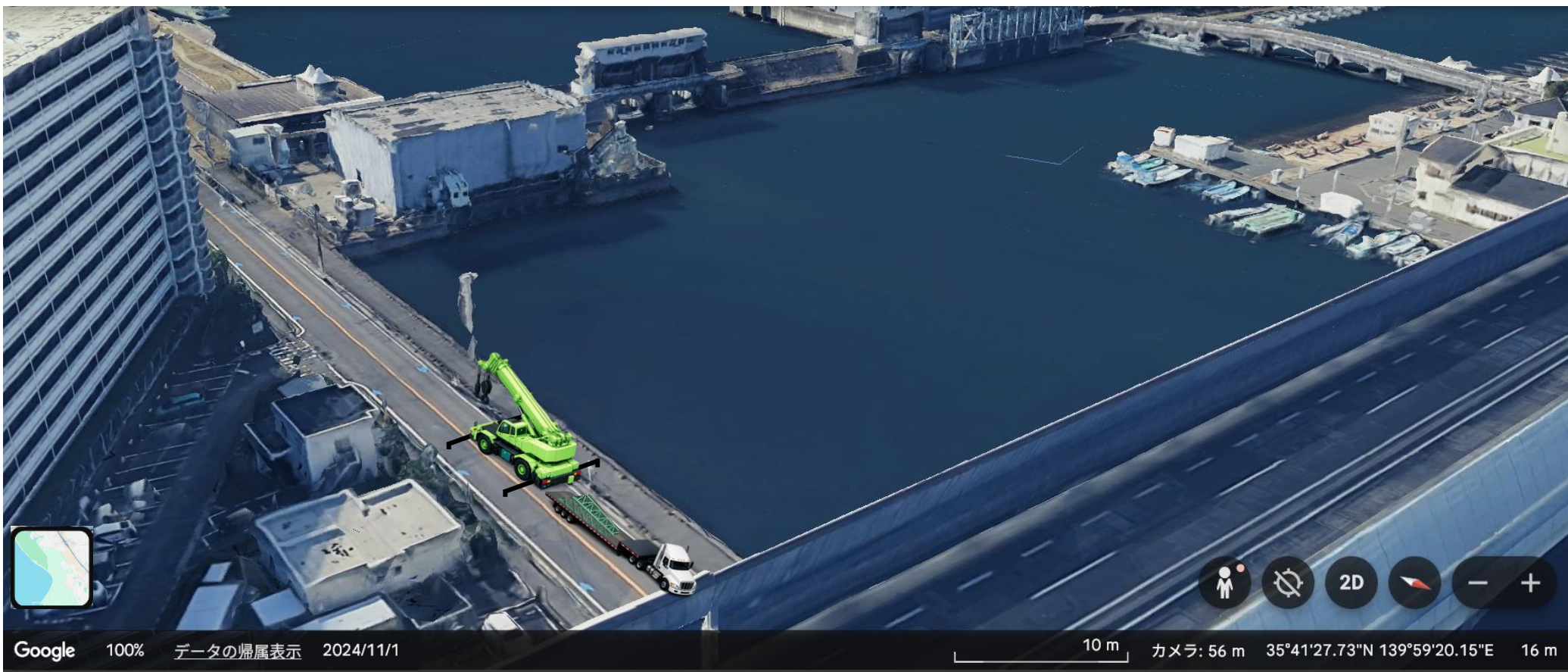


区分	通行可否	
	昼間	夜間
歩道(作業側)	○	×
車道(作業側)	○	×
車道(反対側)	○	○
歩道(反対側)	○	○

仮設栈橋の築造ステップ

ステップ〔2〕：道路上にクレーンを組立 **【交通規制あり】**

規制作業日数(予定)：3日程度



* 下図は「Google Earth」を使用



Google Earth
10.102.78.2
©2026 Google LLC. ALL rights reserved.

データの帰属表示
この地図データに含まれるデータプロバイダ：
Landsat / Copernicus
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO
Airbus

次の日付の画像：
2005/10/1～2025/11/10
一部の表示画像は日付情報が不明です

- 仮設栈橋(乗入れ部)を築造するためには大型クレーン(クローラークレーン100t)が必要。
- 大型クレーンはトレーラーを用いてパーツを陸上輸送し、別の組立て用クレーンを用いて現地で組み立て。
- 作業中は組立て用クレーンの一部が反対車線に張り出すため、両方の車道を交通規制。
- 乗入れ部の一部が完了するまでは大型クレーンの待避場所がないため、車両は終日片側交互通行。



クレーン組立の様子 (参考)



組立て用クレーン (参考)

ステップ①：本体部分の組立て（重量があるため大型の組立て用クレーンを使用）



クレーンの本体部分（参考）

区分	通行可否	
	昼間	夜間
歩道(上り)	×	×
車道(上り)	×	×
車道(下り)	○	×
歩道(下り)	○	○

ステップ②：ブーム部分の組立て（本体部分よりも小さな組立て用クレーンを使用）



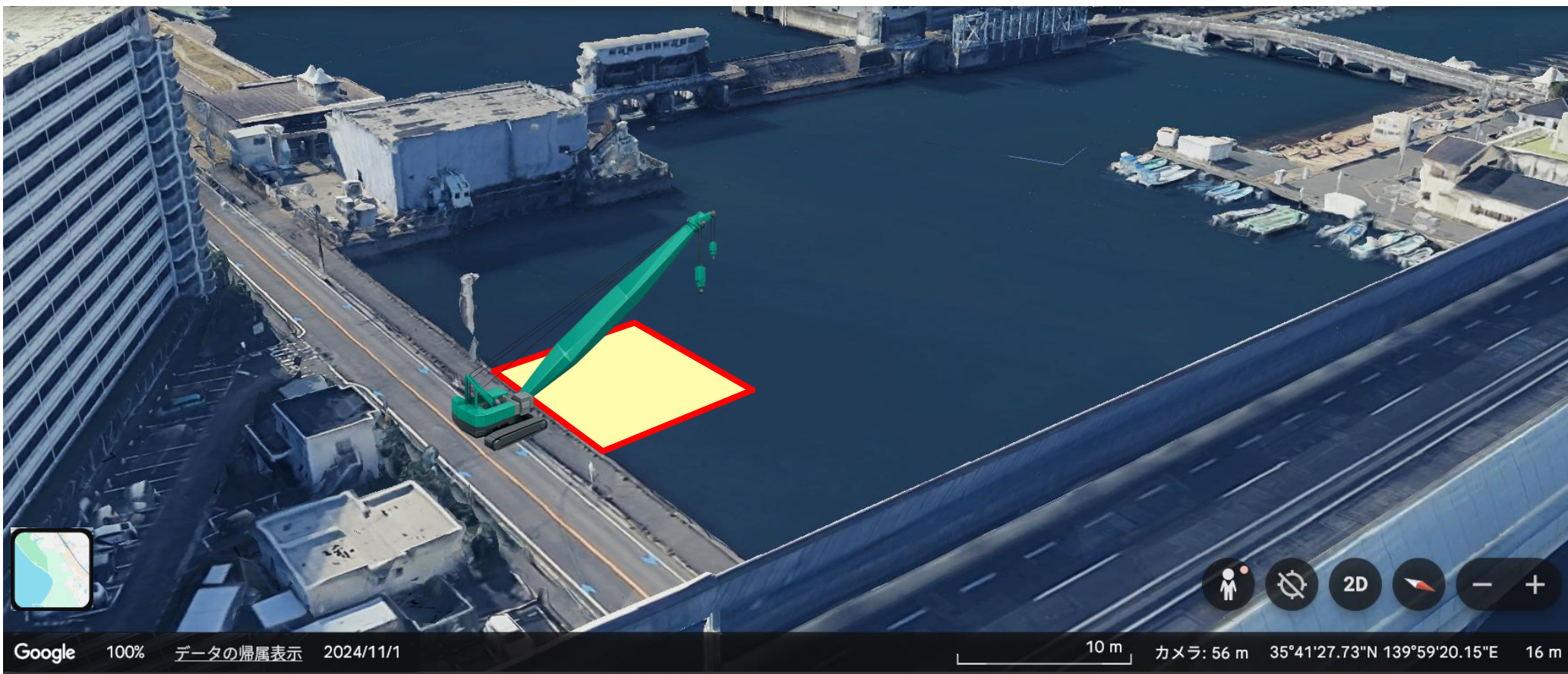
クレーンのブーム部分（参考）

区分	通行可否	
	昼間	夜間
歩道(上り)	×	×
車道(上り)	×	×
車道(下り)	○	△
歩道(下り)	○	○

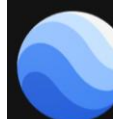
※ △：通行可能(幅員減少) 34

ステップ〔3〕：道路上から仮設栈橋(乗入れ部)を築造 **【交通規制あり】**

規制作業日数(予定)：30日程度



* 下図は「Google Earth」を使用



Google Earth

10.102.78.2
©2026 Google LLC. ALL rights reserved.

データの帰属表示

この地図データに含まれるデータプロバイダ:
Landsat / Copernicus
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO
Airbus

次の日付の画像:
2005/10/1~2025/11/10
一部の表示画像は日付情報が不明です

仮設栈橋 (乗入れ部) 築造作業の概要

- 大型クレーン(クローラークレーン100t)を用いて、乗入れ部の基礎(鋼管杭)を打設。
- 基礎の打設が完了次第、乗入れ部の上部工(橋桁や床板[覆工板])を設置。
はしげた しょうばん ふつこうばん
- 交通影響を最小限に抑えるために細かくステップを分けて実施。



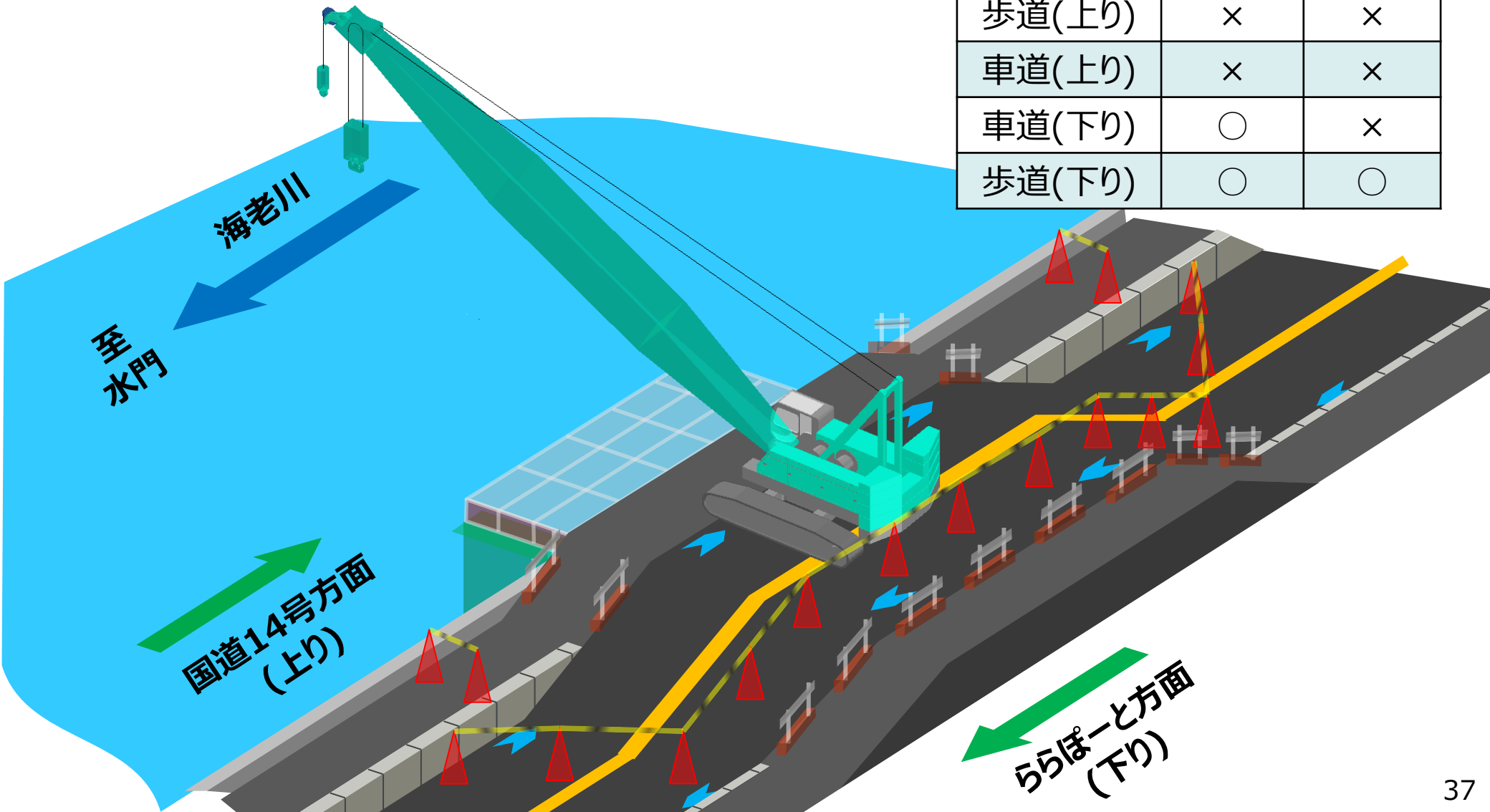
工場生産された鋼管杭 (参考)



鋼材打設の様子 (参考)

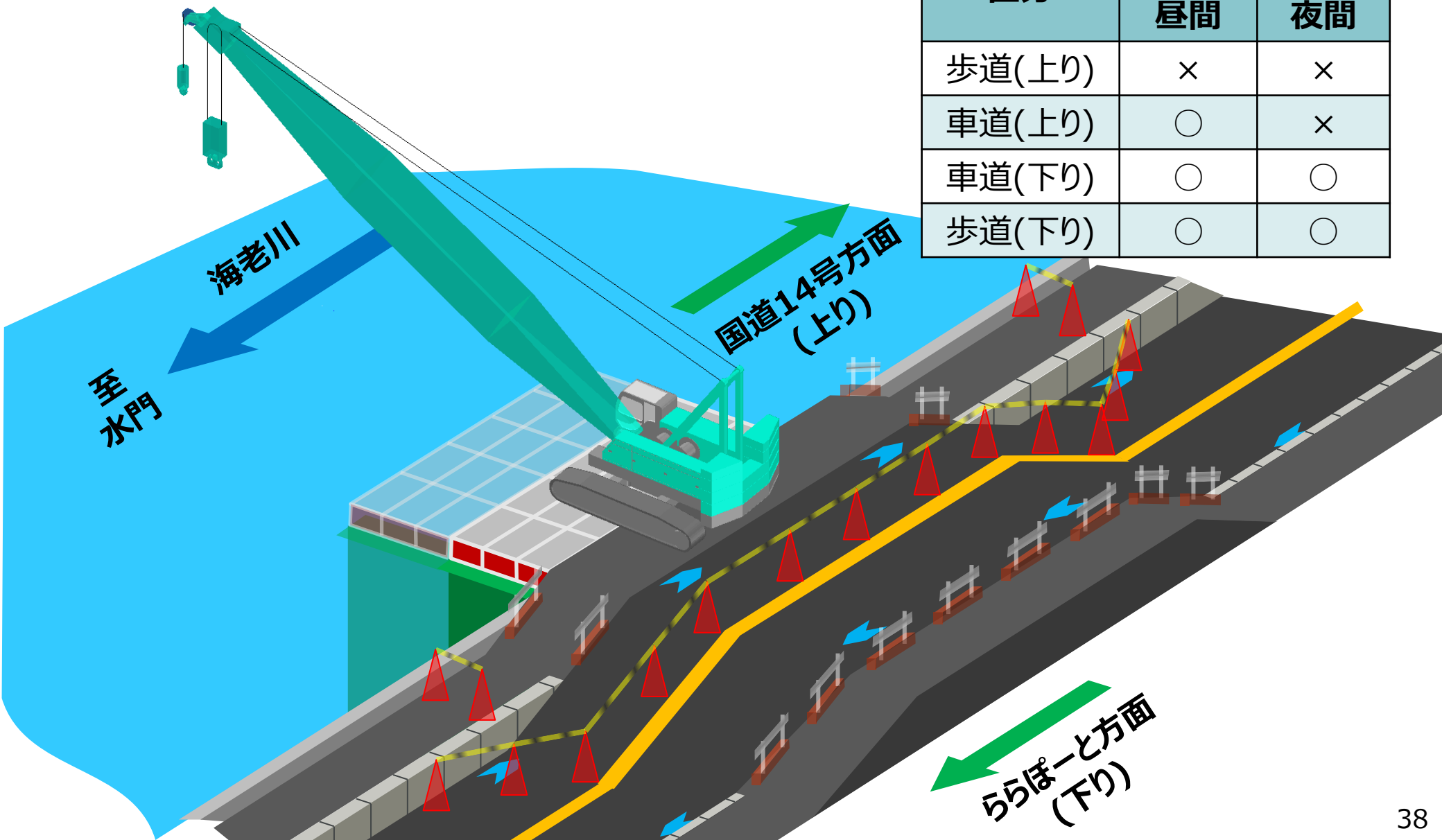
仮設栈橋 (乗入れ部) 築造作業のステップ

ステップ①：乗入れ部(1列目)の築造



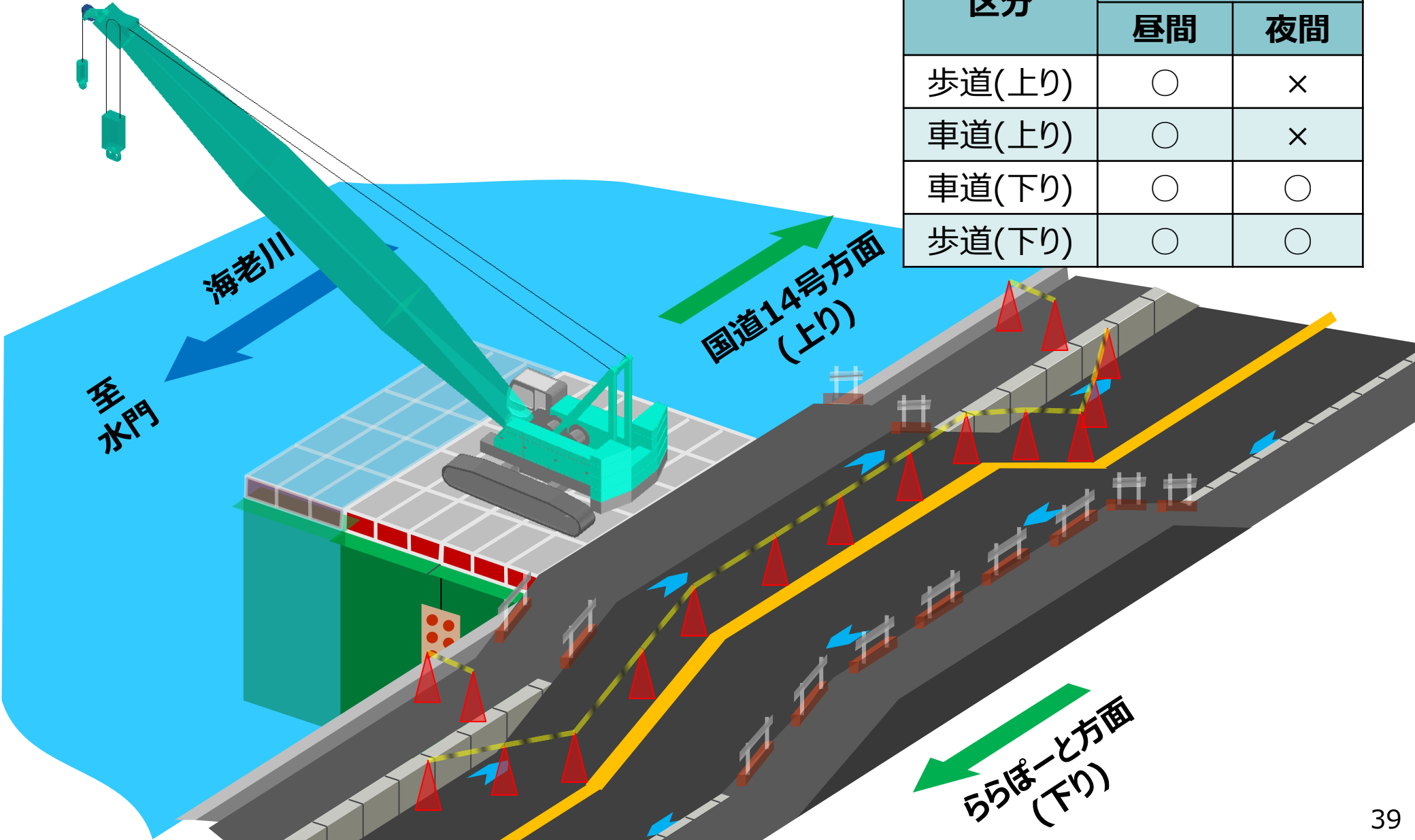
区分	通行可否	
	昼間	夜間
歩道(上り)	×	×
車道(上り)	×	×
車道(下り)	○	×
歩道(下り)	○	○

ステップ②：乗入れ部(2列目)の築造



区分	通行可否	
	昼間	夜間
歩道(上り)	×	×
車道(上り)	○	×
車道(下り)	○	○
歩道(下り)	○	○

ステップ③：乗入れ部(3列目)の築造

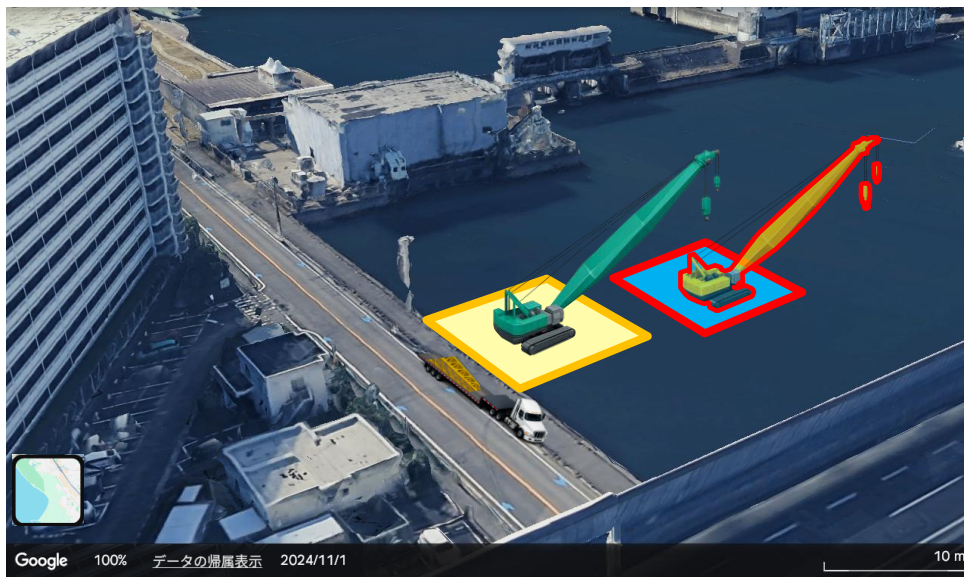


区分	通行可否	
	昼間	夜間
歩道(上り)	○	×
車道(上り)	○	×
車道(下り)	○	○
歩道(下り)	○	○

ステップ〔4〕:

乗入れ部から組立台船とクレーンを組立
【交通規制あり】

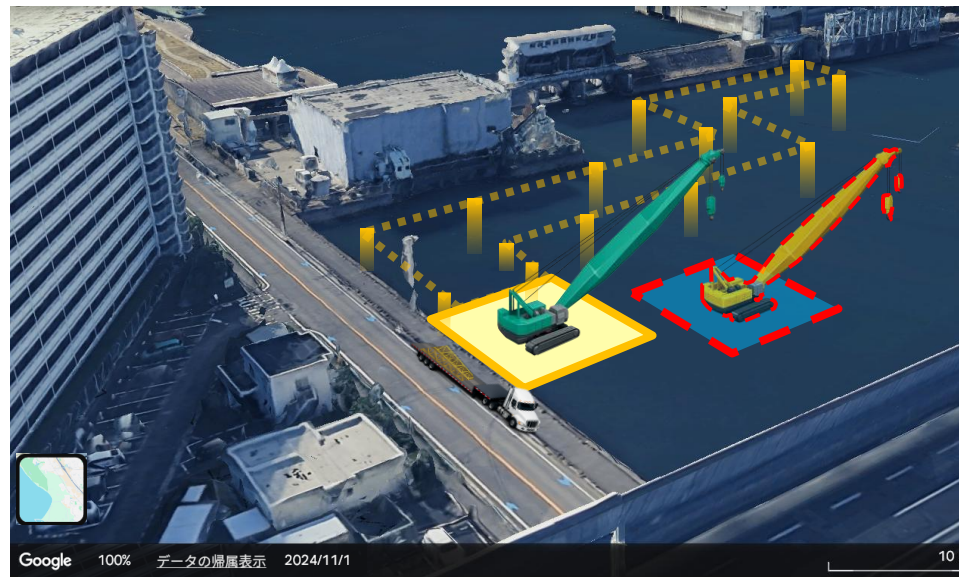
規制作業日数(予定) : 3日程度




ステップ〔6〕:

乗入れ部から組立台船とクレーンを分解
【交通規制あり】

規制作業日数(予定) : 3日程度



* 下図は「Google Earth」を使用



Google Earth
10.102.78.2
©2026 Google LLC. ALL rights reserved.

データの帰属表示
この地図データに含まれるデータプロバイダ:
Landsat / Copernicus
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO
Airbus

次の日付の画像:
2005/10/1~2025/11/10
一部の表示画像は日付情報が不明です

組立台船とクレーンの搬入・組立/分解・搬出作業の概要

- 水上作業(ステップ〔5〕)を行うために、台船と呼ばれる水上作業拠点を実地で組み立てる必要がある。
- 組立台船の上に設置するクレーンは乗入れ部築造時用クレーンと同規模。(現地組み立てが必要)
- 乗入れ部築造用クレーンを組立て用クレーンとして用いるため、**作業中は片側交互規制(歩車道)、作業時間外は全面交通開放。**
- 水上作業を終えた組立台船とクレーンは、市道から分解・搬出。
- 現在、分解・搬出は仮設栈橋の基礎(鋼管杭)の打設完了後(10月頃)の実施を想定。
(工程等の関係により、次ページ記載の「仮設栈橋の上部工(桁など)設置作業」の後(2月頃)に実施する可能性あり)

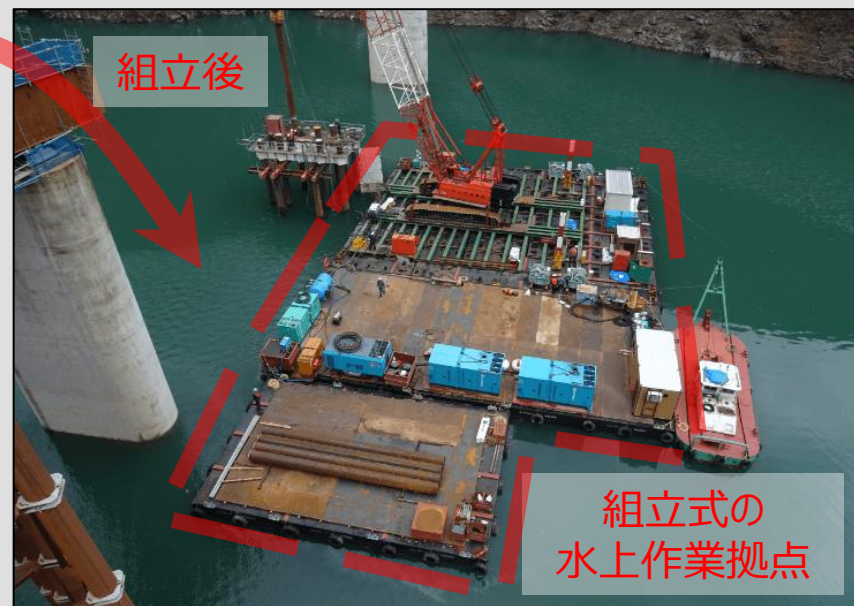
出典：組立式台船ユニフロート工法

組立台船設置の様子



<https://www.e-matsubara.co.jp/service/unifloat/>

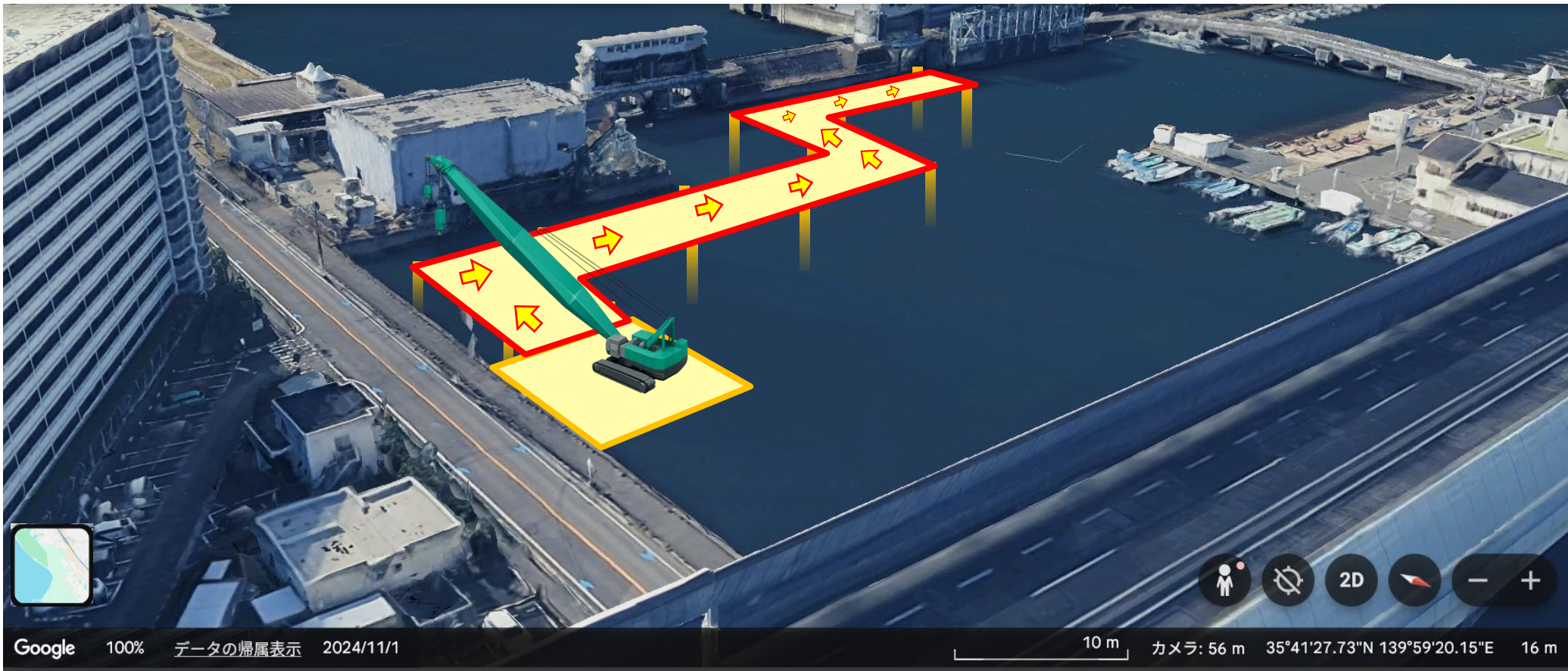
台船上での施工の様子



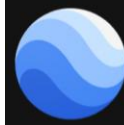
<https://www.e-matsubara.co.jp/service/works/unifloat.html>

ステップ〔7〕：乗入れ部から仮設栈橋上部(橋桁など)を設置 **【規制方法検討中】**

規制作業日数(想定)：数日～10日程度



* 下図は「Google Earth」を使用



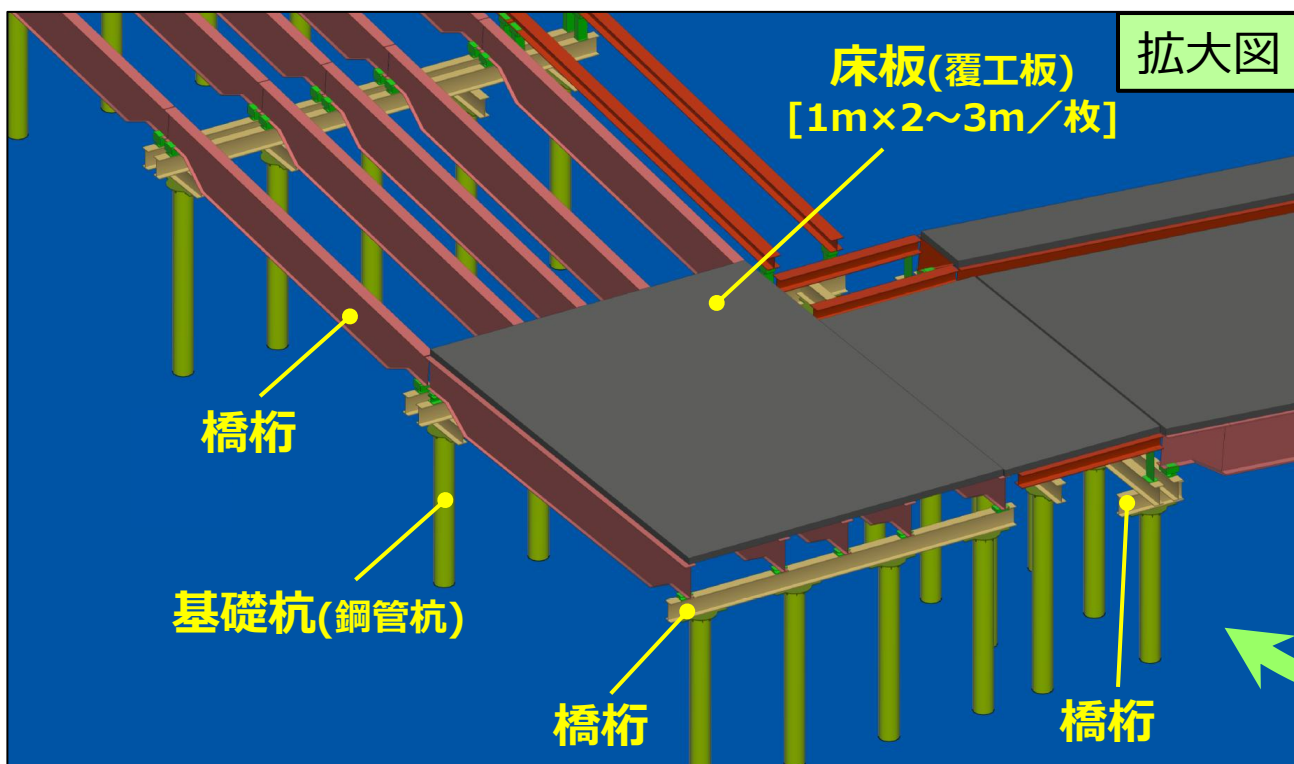
Google Earth
10.102.78.2
©2026 Google LLC. All rights reserved.

データの帰属表示
この地図データに含まれるデータプロバイダ:
Landsat / Copernicus
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO
Airbus

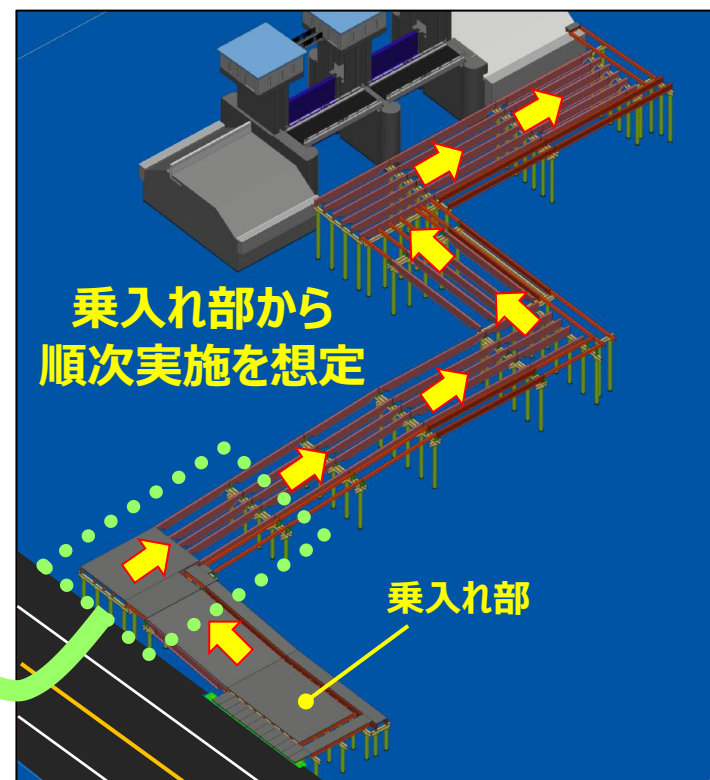
次の日付の画像:
2005/10/1～2025/11/10
一部の表示画像は日付情報が不明です

仮設栈橋上部（橋桁など）の設置作業の概要

- 仮設栈橋の基礎(鋼管杭)打設を完了した後、上部工(橋桁^{はしげた}、床版^{しょうばん}[覆工板^{ふつこうばん}]、柵など)を設置。
(基礎打設は漁業に影響を与えないように9月末までに完了)
- 現在、上部工の設置は乗入れ部から、順次実施する想定。
(工程等の関係により、水上作業を行う可能性あり)
- 交通規制方法は工事進捗を踏まえた、重機配置の詳細な検討後に案内看板等で案内。
(規制を行う場合は夜間片側交互通行、昼間交通解放)

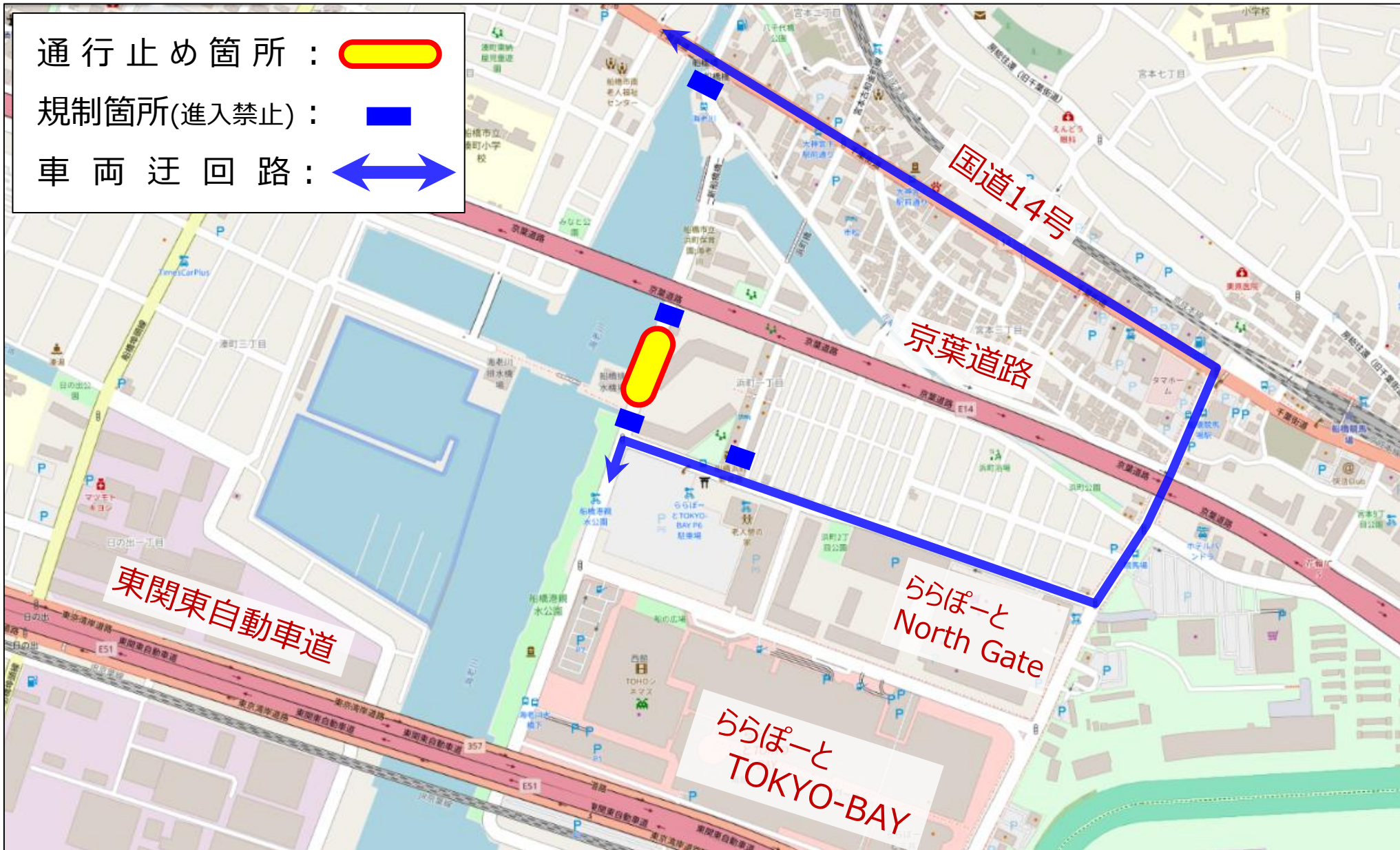


仮設栈橋の主な部材

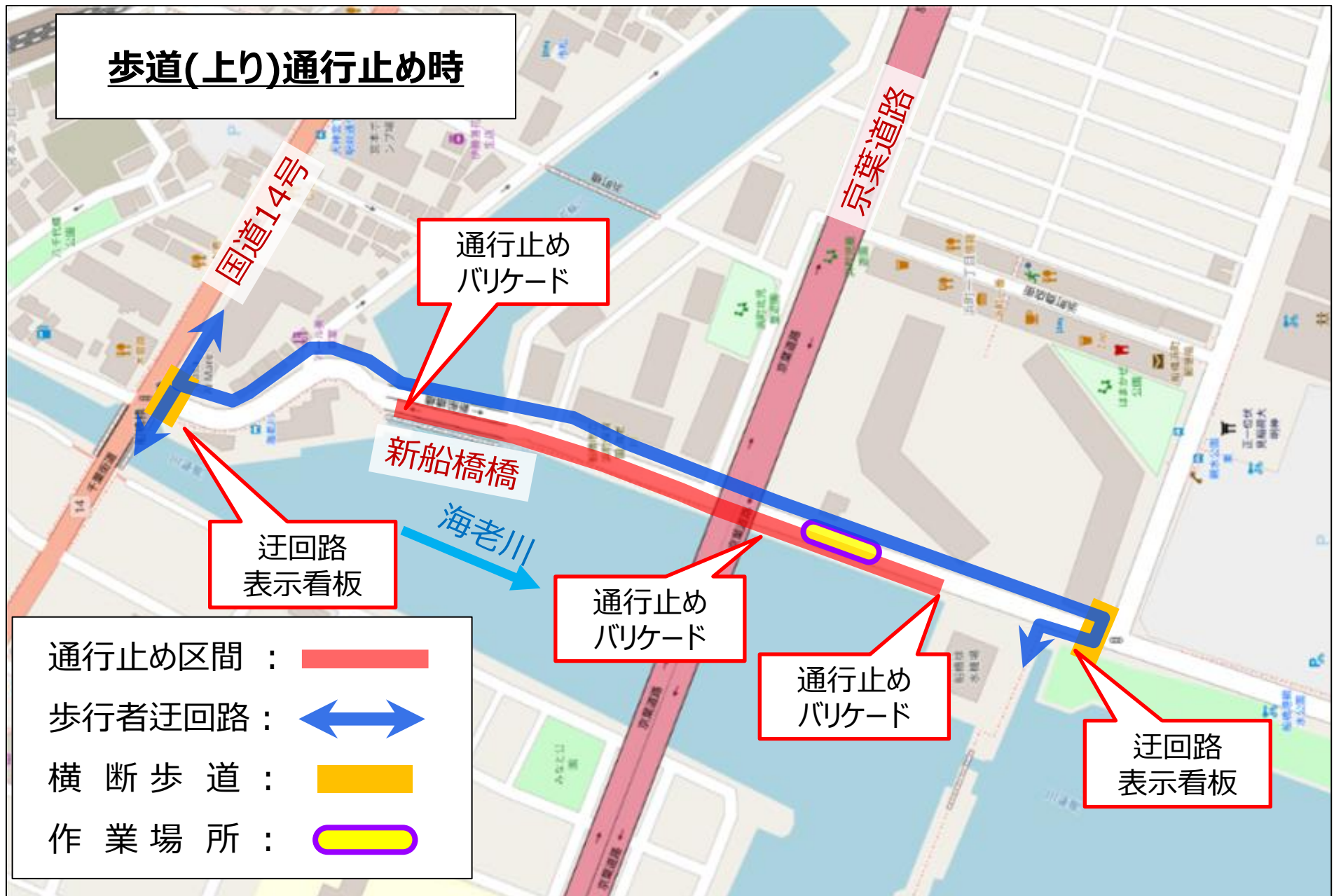


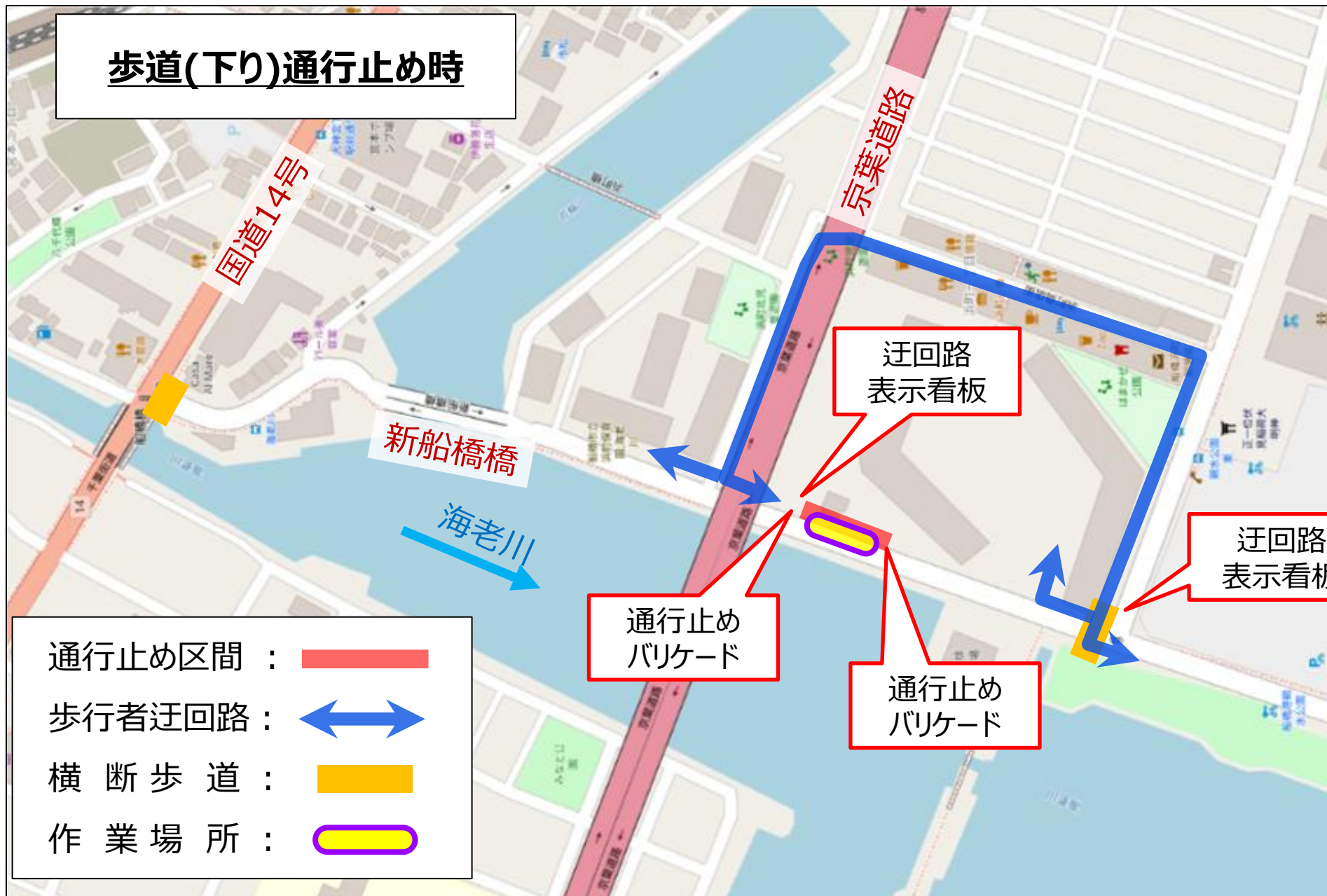
上部工設置作業のイメージ

車道通行止め時の車両迂回路



下図は「©OpenStreetMap contributors. <https://www.openstreetmap/copyright>」を使用





【②管理用通路の通行方法】の説明内容について

1. 管理用通路の経緯と今後のご対応について
2. 工事期間中の一般通行について
3. 現況通路と仮設管理用通路の構造比較について
4. 仮設管理用通路に関する皆様への周知方法について

1. 管理用通路の経緯と今後のご対応について

【現在の管理用通路の経緯について】

- 千葉県が管理する「海老川水門管理用通路」は、船橋市及び地域住民の皆様からのご要望に基づき、昭和63年に千葉県と船橋市で文書を取り交わし、管理用通路の一般通行が可能となりました。

【工事期間中の仮管理用通路】

- 3者(国、県、市)で調整した結果、海老川水門等の工事期間中は仮管理通路を設置し、歩行者の通行を可能といたしました。

2. 工事期間中の一般通行について

※期間(予定): 令和9年2月頃まで

- ・仮設棧橋の施工期間中
- ・**現在の管理用通路を通行**

※近接する作業を実施する際は、**安全上、一時的に通行止め**にさせていただきます

仮棧橋(仮設管理用通路)の施工中

二級河川 海老川



※下図はGoogleMapsを使用

2. 工事期間中の一般通行について

※期間(予定): 令和9年2月～令和11年月頃まで

- ・海老川水門施工期間中
- ・仮設管理用通路を通行

※近接する作業を実施する際は、安全上、一時的に通行止めさせていただきます



※下図はGoogleMapsを使用

2. 工事期間中の一般通行について

※期間(予定): 令和11年から(設計中のため終期未定)

・海老川水門施工期間中 ・仮設管理用通路を通行

※近接する作業を実施する際は、
安全上、一時的に通行止め
にさせていただきます



※下図はGoogleMapsを使用

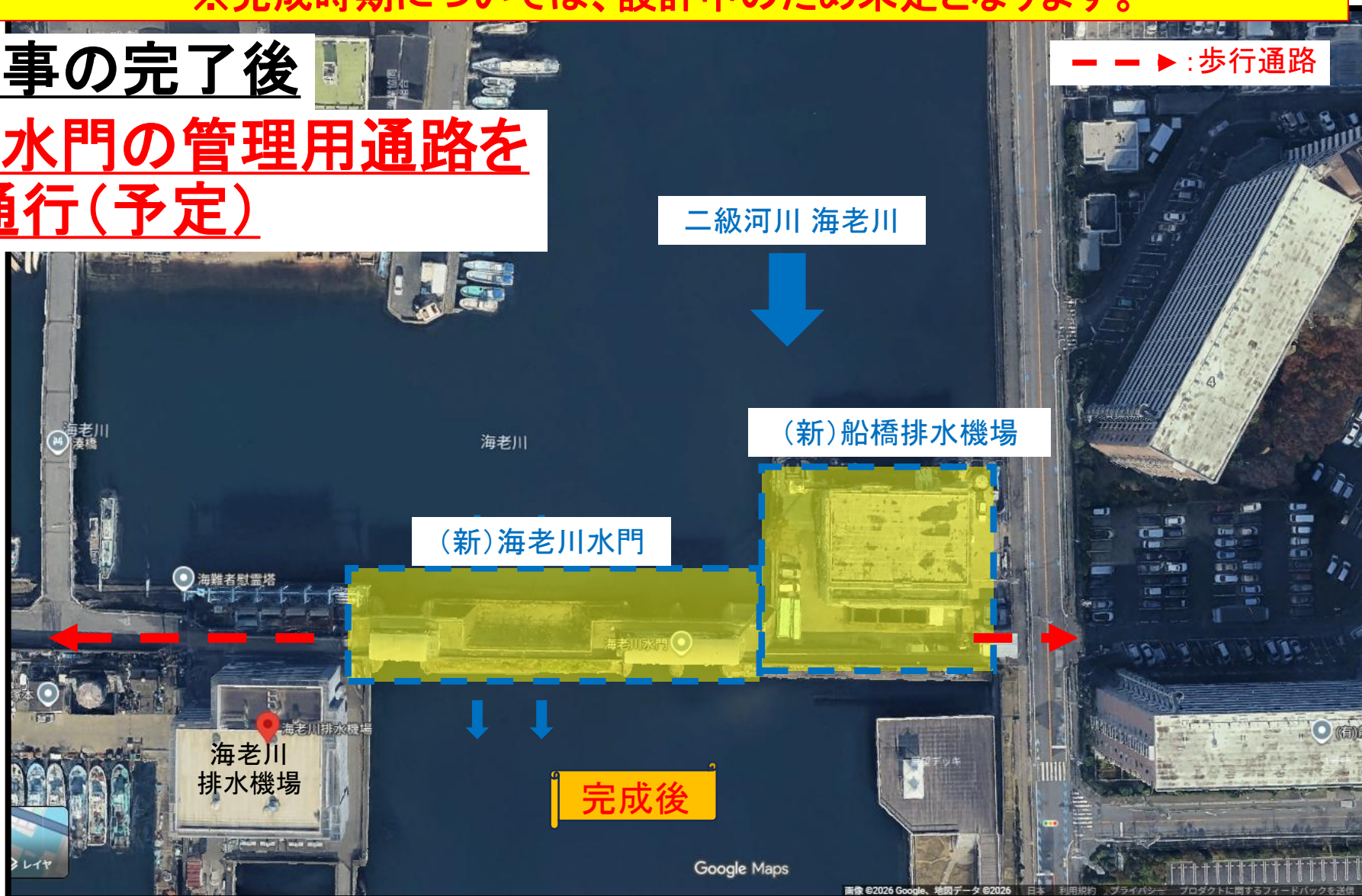
2. 工事期間中の一般通行について

※完成時期については、設計中のため未定となります。

・工事の完了後

・新水門の管理用通路を
通行(予定)

---▶: 歩行通路



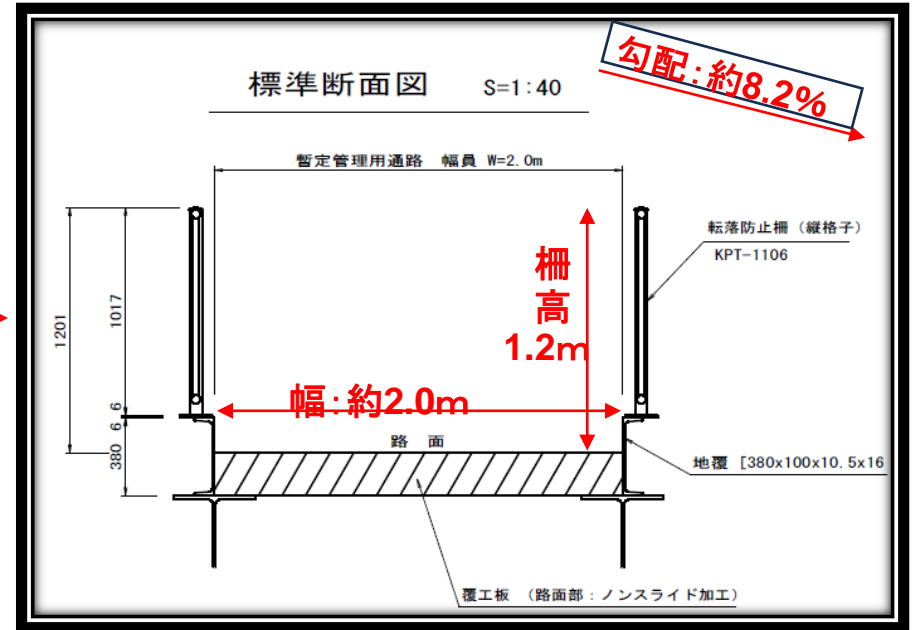
※下図はGoogleMapsを使用

3. 現況通路と仮設管理用通路の構造比較

【現況の通路】



【工事期間中の仮設管理用通路】



現況		工事期間中
約1.5m以上	幅員	約2m
約9.5%	最大勾配	約8.2%
歩行者 (自転車は降りて通行)	利用者	歩行者 (自転車は降りて通行)

4. 仮設管理用通路に関する皆様への周知方法

・通行に関する周知方法

通常時

- ・4週間前頃から現地に「予告板」を設置
- ・近隣自治会への「回覧」および 近隣学校・保育園への「チラシ配布」
- ・船橋市HPへの掲載

緊急時等

- ・現地に「お知らせ看板」を設置

・工事期間中の通行方法

歩行者の通行(自転車は押して通行)

※現在の通行方法と同じ

お問合せ先

○工事に関する内容

**発注者：関東地方整備局 千葉港湾事務所
保全課 TEL043-243-9282**

**施工者：東亜建設工業 株式会社 千葉支店
現場代理人 瀬戸口 航典
TEL047-431-3383**

○管理用通路の通行方法に関する内容

**千葉県 県土整備部
港湾課 港湾整備室 TEL043-223-3849**

**千葉県 葛南港湾事務所
建設課 TEL047-433-1896**

引き続き、地元の皆様からのご理解・御協力をお願い申し上げます。
本日は、お忙しいところご来場いただき、誠にありがとうございました。



質 疑 応 答 の 概 要

～ 海老川水門工事に関する説明会（令和8年5月9日開催） ～

【直轄海岸事業全般に関すること】

Q：海岸保全施設はどの程度の嵩上げ高さを行うのでしょうか。また、その根拠は何でしょうか。

A（国）：最大2m程度の嵩上げを行います。

施設の高さについては、千葉県が海岸保全基本計画の見直しに伴い実施した、伊勢湾台風を上回る規模の台風による高潮シミュレーション結果を用いて、工区毎にそれぞれ必要高さを算定して設定しています。

【海老川水門の構造に関すること】

Q：新水門の管理用通路幅は何mになるのでしょうか。

A（国）：3.5m程度になります。

Q：水門の内側に船舶が停泊しており仮設栈橋の高さが気になります。仮設栈橋の高さはどの程度でしょうか。

A（国）：海老川第二水門と同程度の高さなので、海老川第二水門を通過可能な船舶であれば通過可能です。

【海老川水門の工事に関すること】

Q：市道(歩道)の嵩上げ勾配は、ベビーカーや車いすでも通行可能でしょうか。

A（国）：ベビーカーや車いすでも問題なく通行できる勾配になっております。

Q：組立台船から水門築造を行えば、仮設栈橋の設置は不要ではないでしょうか。

A（国）：組立台船は仮設栈橋を築造する程度の能力しかなく、水門そのものを築造する能力はないため、仮設栈橋を築造する必要があります。

Q：車両通行止め時に、国道 14 号から新船橋橋に抜ける道を進入禁止にしていますが、大神宮駅方面から直進し、船溜まり沿いを抜ける道があります。この道を通り抜けた車が通行止め箇所を迂回する場合、歩行者迂回ルート(ファミリータウン商店街)に向かってしまうと思います。歩行者(特に子供)の安全確保についてどのような配慮がなされているのでしょうか。

A（国）：車両通行止めは夜間(22:00～05:00)のみ実施し、車両通行止め時はファミリータウン側の歩道が通行可能なため、歩行者の迂回は発生せず、迂回ルートと重なることはありません。

Q：今回工事箇所は通学路になっており、子供たちも頻繁に利用しますが、クレーン車は風速何mで作業を停止するなどの基準はあるのでしょうか。

A（施工業者）：クレーン作業の停止基準については、10 分間の平均風速が 10m/s 以上の場合としています。

Q：近くで市が行っている新船橋橋工事による交通規制と、水門工事による交通規制が重なること、交通影響が大きくなることが懸念されますが、事前の話し合いは行っているのでしょうか。

A（国）：船橋市等とは事前に情報共有を行っており、交通影響が最小限になるように実施してまいります。

Q：歩道を通行止めにする場合は、終日通行止めなのでしょうか。学校の登校時間だけは通れる等の案はあるのでしょうか。

A（国）：歩道を通行止めにする場合は、どちらかの歩道は通行可能です。

【管理用通路の通行に関すること】

Q：管理用通路は中学生が通学ルートとして利用していますが、仮設栈橋と現状の管理用通路について、風や河川状況による通行止め基準はあるのでしょうか。

A（県）：現時点においては、どちらも具体的な通行止め基準はありません。管理用通路の通行に関しては、船橋市と千葉県で管理するという協定を結んでいるので、通行止め基準については、船橋市と千葉県で検討してまいります。

Q：仮設栈橋が通行止めになった場合、近隣の小中学校等に事前連絡を行っていただけのでしょうか。午前中は通行可能だったが、午後から通行が出来なくなった場合などは、学校等も判断が難しいと思いますので、是非連絡を行っていただきたいと考えております。

A（県）：いただいた意見をもとに、周知方法については、船橋市と千葉県で検討してまいります。